

2022年度 シラバス(授業内容)

昼間部 2 年
エアライン科 キャビンアテンダントコース
エアポートサービスコース
エアポートカーゴコース

1.シラバスとは

シラバスは、授業の内容を予め受講者に知らせるもので、到達目標・使用教材・単位数等が記載されています。

当校の教育理念は「ホスピタリティマインド豊かな社会人の育成」です。ホスピタリティとはお客様をおもてなしすること、心配り・気配り・思いやりを意味します。相手の立場に立って考え、行動できる人間を育成することを念頭にカリキュラム編成をしています。同時に卒業後、即戦力として活躍できるよう専門分野においても基礎・応用からの実践教育を取り入れたカリキュラムとなっています。

2.科目編成(カリキュラム)の概要

科目編成は、共通科目と専門科目です。

全科目が必修科目となり、卒業にはすべての単位取得が必要です。

(1) 共通科目: 人間力を高めること、職業人として必要なビジネス教養を身に付ける科目構成です。

(2) 専門科目: 各各科コースの専門分野に即した科目構成です。



学校法人 中村学園

国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

2022年度 昼間部2年 エアライン科キャビンアテンダントコース

進級・卒業基準単位

		1 年		2 年		卒業
		前期	後期	前期	後期	基準単位
必修	共通必修	7	8	6	6	27
	専門必修	18	26	18	16	78
合 計		25	34	24	22	105

各期全単位を取得すること。

履修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

		1年前期				1年後期				2年前期				2年後期			
		科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数
共通科目	ホスピタリティⅠ	演	1	15	ホスピタリティⅡ	演	1	15	脳力開発Ⅰ	演	1	15	脳力開発Ⅱ	演	1	15	
	ビジネスコミュニケーションⅠ	講・演	1	15					ビジネスコミュニケーションⅡ	講・演	1	15	ビジネスコミュニケーションⅢ	講・演	1	15	
	Let's Speak EnglishⅠ	演	1	15	Let's Speak EnglishⅡ	演	1	15	Let's Speak EnglishⅢ	演	1	15	Let's Speak EnglishⅣ	演	1	15	
	キャリアデザインⅠ	演	2	30	キャリアデザインⅡ	演	5	75	キャリアデザインⅢ	演	1	15	国際交流	演	1	15	
	パソコン	演	1	15					卒業研究Ⅰ	演	2	30	卒業研究Ⅱ	演	2	30	
	就職筆記対策Ⅰ	講	1	15	就職筆記対策Ⅱ	講	1	15									
	小計		7	105	小計		8	120	小計		6	90	小計		6	90	
必修科目	English CommunicationⅠ	演	1	30	English CommunicationⅡ	演	1	30	English CommunicationⅢ	演	1	30	English CommunicationⅣ	演	1	30	
	TOEIC Advanced対策Ⅰ	講	4	60	TOEIC Advanced対策Ⅱ	講	4	60	TOEIC Advanced対策Ⅲ	講	2	45	TOEIC Advanced対策Ⅳ	講	2	45	
	英語基礎文法Ⅰ /Ideas&OpinionsⅠ	講・演	1	15	英語基礎文法Ⅱ /Ideas&OpinionsⅡ	講・演	2	30	外客接遇Ⅰ	演	1	15	外客接遇Ⅱ	演	1	15	
	エアライン企業研究Ⅰ	演	1	15	エアライン企業研究Ⅱ	演	1	15	パソコンスキルⅠ	演	1	15	パソコンスキルⅡ	演	1	15	
	時事研究Ⅰ	演	1	15	時事研究Ⅱ	演	1	15	時事研究Ⅲ	演	1	15	時事研究Ⅳ	講	1	15	
	観光英検対策Ⅰ	講	1	15	観光英検対策Ⅱ	講	1	15	ワイン入門	講	1	15	空港あれこれ	講	1	15	
	中国語/韓国語Ⅰ	講	1	30	中国語/韓国語Ⅱ	講	1	30	中国語/韓国語Ⅲ	講	1	30	中国語/韓国語Ⅳ	講	1	30	
	エアライン概要Ⅰ	講	1	15	エアライン概要Ⅱ	講	1	15	航空機研究	演	1	15	リスクマネジメント	演	1	15	
	業界ガイド	講	1	15	エアライン受験対策Ⅰ	講・演	1	15	エアライン受験対策Ⅱ	演	1	15					
	CA入門	演	1	15	CA実務Ⅰ	演	1	15	CA実務Ⅱ	講	1	15					
	機内サービス実技演習Ⅰ	演	1	15	機内サービス実技演習Ⅱ	演	1	15	接客手話Ⅰ	演	1	15	接客手話Ⅱ	演	1	15	
	メイクアップ講座	演	1	15	センスアップ講座	演	1	15	異文化理解Ⅰ(韓国)	講	1	15	異文化理解Ⅱ(中国)	講	1	15	
	ワールドデスティネーションズⅠ	講	1	15	ワールドデスティネーションズⅡ	講	1	15	ワールドデスティネーションズⅢ	講	1	30	ワールドデスティネーションズⅣ	講	1	30	
	アマデウスⅠ	演	1	15	アマデウスⅡ	演	1	15	Airline EnglishⅡ	演	1	15	Airline EnglishⅢ	演	1	15	
	美育Ⅰ	演	1	15	美育Ⅱ	演	1	15					美育Ⅲ	演	1	15	
					Airline EnglishⅠ	演	1	15	国内観光地理Ⅰ	講	1	15	国内観光地理Ⅱ	講	1	15	
					TOEIC Advanced集中講座	講	2	30	電話応対ベーシックⅠ	演	1	15	電話応対ベーシックⅡ	演	1	15	
					Airport Study	演	2	30	English Interview	演	1	15					
					海外語学研修	演	2	30									
	小計		18	300	小計		26	420	小計		18	330	小計		16	300	
計	1年前期 計		25	405	1年後期 計		34	540	2年前期 計		24	420	2年後期 計		22	390	
	1年 計						59	945	2年 計						46	810	
	2年間 合計															105	1755

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
行事	スタートアップセミナー	サービス介助士	オリエンテーション	中村学園祭
	オリエンテーション合宿	就職ガイダンス	スポーツ大会	
	スポーツ大会	スピーチコンテスト		
	AAセミナーⅠ			
	AAセミナーⅡ			

2022 年度 昼間部 2 年 エアライン科エアポートサービスコース

進級・卒業基準単位

		1 年		2 年		卒業 基準単位
		前期	後期	前期	後期	
必修	共通必修	7	8	6	6	27
	専門必修	17	25	19	17	78
合 計		24	33	25	23	105

各期全単位を取得すること。

履修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期			
	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数
共通科目	ホスピタリティⅠ	演	1	15	ホスピタリティⅡ	演	1	15	脳力開発Ⅰ	演	1	15	脳力開発Ⅱ	演	1	15
	ビジネスコミュニケーションⅠ	講・演	1	15					ビジネスコミュニケーションⅡ	講・演	1	15	ビジネスコミュニケーションⅢ	講・演	1	15
	Let's Speak EnglishⅠ	演	1	15	Let's Speak EnglishⅡ	演	1	15	Let's Speak EnglishⅢ	演	1	15	Let's Speak EnglishⅣ	演	1	15
	キャリアデザインⅠ	演	2	30	キャリアデザインⅡ	演	5	75	キャリアデザインⅢ	演	1	15	国際交流	演	1	15
	パソコン	演	1	15					卒業研究Ⅰ	演	2	30	卒業研究Ⅱ	演	2	30
必修科目	就職筆記対策Ⅰ	講	1	15	就職筆記対策Ⅱ	講	1	15								
	小計		7	105	小計		8	120	小計		6	90	小計		6	90
	English CommunicationⅠ	演	1	30	English CommunicationⅡ	演	1	30	English CommunicationⅢ	演	1	30	English CommunicationⅣ	演	1	30
	TOEIC対策Ⅰ	講	3	45	TOEIC対策Ⅱ	講	3	45	TOEIC対策Ⅲ	講	3	45	TOEIC対策Ⅳ	講	3	45
	英語基礎文法Ⅰ / Ideas&OpinionsⅠ	講・演	1	15	英語基礎文法Ⅱ / Ideas&OpinionsⅡ	講・演	2	30	外客接遇Ⅰ	演	1	15	外客接遇Ⅱ	演	1	15
	エアライン企業研究Ⅰ	演	1	15	エアライン企業研究Ⅱ	演	1	15	パソコンスキルⅠ	演	1	15	パソコンスキルⅡ	演	1	15
	時事研究Ⅰ	演	1	15	時事研究Ⅱ	演	1	15	時事研究Ⅲ	演	1	15	時事研究Ⅳ	講	1	15
	観光英検対策Ⅰ	講	1	15	観光英検対策Ⅱ	講	1	15	エアカーゴ入門	講	1	15	空港あれこれ	講	1	15
	中国語/韓国語Ⅰ	講	1	30	中国語/韓国語Ⅱ	講	1	30	中国語/韓国語Ⅲ	講	1	30	中国語/韓国語Ⅳ	講	1	30
	エアライン概要Ⅰ	講	1	15	エアライン概要Ⅱ	講	1	15	航空機研究	演	1	15	リスクマネジメント	演	1	15
	業界ガイド	講	1	15	エアライン受験対策Ⅰ	講・演	1	15	エアライン受験対策Ⅱ	演	1	15				
	空港旅客サービス入門	演	2	30	空港旅客サービス実務Ⅰ	講	2	30	空港旅客サービス実務Ⅱ	講	1	15				
	カウンター実技演習Ⅰ	演	1	15	カウンター実技演習Ⅱ	演	1	15	危険物取扱講座Ⅰ	講	1	15	危険物取扱講座Ⅱ	講	1	15
	メイクアップ講座	演	1	15	センスアップ講座	演	1	15	異文化理解Ⅰ(韓国)	講	1	15	異文化理解Ⅱ(中国)	講	1	15
	ワールドデスティネーションズⅠ	講	1	15	ワールドデスティネーションズⅡ	講	1	15	ワールドデスティネーションズⅢ	講	1	30	ワールドデスティネーションズⅣ	講	1	30
	アマデウスⅠ	演	1	15	アマデウスⅡ	演	1	15	接客手話Ⅰ	演	1	15	接客手話Ⅱ	演	1	15
					Airline EnglishⅠ	演	1	15	Airline EnglishⅡ	演	1	15	Airline EnglishⅢ	演	1	15
					英語面接対策	演	1	15	国内観光地理Ⅰ	講	1	15	国内観光地理Ⅱ	講	1	15
					TOEIC集中講座	講	1	30	電話応対ベーシックⅠ	演	1	15	電話応対ベーシックⅡ	演	1	15
					Airport Study	演	2	30								
					海外語学研修	演	2	30								
	小計		17	285	小計		25	420	小計		19	330	小計		17	300
計	1年前期 計		24	390	1年後期 計		33	540	2年前期 計		25	420	2年後期 計		23	390
	1年 計						57	930	2年 計						48	810
	2年間 合計															105 1740

	1年前期		1年後期		2年前期		2年後期	
	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位
行事	スタートアップセミナー		サービス介助士		オリエンテーション		中村学園祭	
	オリエンテーション合宿		就職ガイダンス		スポーツ大会			
	スポーツ大会		スピーチコンテスト					
			AAセミナーⅠ					
			AAセミナーⅡ					

2022年度 昼間部2年 エアライン科エアポートカーゴコース

進級・卒業基準単位

		1 年		2 年		卒業
		前期	後期	前期	後期	基準単位
必修	共通必修	7	8	6	6	27
	専門必修	19	22	19	18	78
合 計		26	30	25	24	105

各期全単位を取得すること。

履修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

		1年前期				1年後期				2年前期				2年後期			
		科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数
共通科目	ホスピタリティⅠ	演	1	15	ホスピタリティⅡ	演	1	15	脳力開発Ⅰ	演	1	15	脳力開発Ⅱ	演	1	15	
	ビジネスコミュニケーションⅠ	講・演	1	15					ビジネスコミュニケーションⅡ	講・演	1	15	ビジネスコミュニケーションⅢ	講・演	1	15	
	Let's Speak EnglishⅠ	演	1	15	Let's Speak EnglishⅡ	演	1	15	Let's Speak EnglishⅢ	演	1	15	Let's Speak EnglishⅣ	演	1	15	
	キャリアデザインⅠ	演	2	30	キャリアデザインⅡ	演	5	75	キャリアデザインⅢ	演	1	15	国際交流	演	1	15	
	パソコン	演	1	15					卒業研究Ⅰ	演	2	30	卒業研究Ⅱ	演	2	30	
	就職筆記対策Ⅰ	講	1	15	就職筆記対策Ⅱ	講	1	15									
	小計		7	105	小計		8	120	小計		6	90	小計		6	90	
必修科目	グラハンエクササイズⅠ	演	2	30	グラハンエクササイズⅡ	演	2	30	グラハンエクササイズⅢ	演	2	30	グラハンエクササイズⅣ	演	2	30	
	TOEIC対策Ⅰ	講	3	45	TOEIC対策Ⅱ	講	3	45	TOEIC対策Ⅲ	講	2	30	TOEIC対策Ⅳ	講	2	30	
	エアカーゴ入門(貨物の仕組み)	講	2	30	エアカーゴ実務Ⅰ(税関/海上)	演	2	30	エアカーゴ実務Ⅱ(フォワーダー)	講	2	30	リスクマネジメント	演	1	15	
	エアライン企業研究Ⅰ	演	1	15	エアライン企業研究Ⅱ	演	1	15	パソコンスキルⅠ	演	1	15	パソコンスキルⅡ	演	1	15	
	時事研究Ⅰ	演	1	15	時事研究Ⅱ	演	1	15	時事研究Ⅲ	演	1	15	時事研究Ⅳ	講	1	15	
	グランドハンドリング入門	演	1	15	グランドハンドリング実務	演	1	15	空港旅客サービス入門(旅客の流れ)	講	1	15	空港あれこれ	講	1	15	
	中国語/韓国語Ⅰ	講	1	30	中国語/韓国語Ⅱ	講	1	30	中国語/韓国語Ⅲ	講	1	30	中国語/韓国語Ⅳ	講	1	30	
	ディプロマ対策Ⅰ	講	2	45	ディプロマ講習	講	1	15	航空機研究	演	1	15					
	ディプロマ対策Ⅱ	講	2	30	ワールドカーゴビジネス	講	1	15	危険物取扱講座Ⅰ	講	1	15	危険物取扱講座Ⅱ	講	1	15	
	貿易実務Ⅰ	講	1	15	貿易実務Ⅱ	講	2	30	貿易実務検定C級対策	講	1	15					
	ワールドデスティネーションズⅠ	講	1	15	ワールドデスティネーションズⅡ	講	1	15	ワールドデスティネーションズⅢ	講	1	30	ワールドデスティネーションズⅣ	講	1	30	
	アマデウスⅠ	演	1	15	アマデウスⅡ	演	1	15	異文化理解Ⅰ(韓国)	講	1	15	異文化理解Ⅱ(中国)	講	1	15	
	業界ガイド	講	1	15	Airline EnglishⅠ	演	1	15	Airline EnglishⅡ	演	1	15	Airline EnglishⅢ	演	1	15	
					Airport Study	演	2	30	国内観光地理Ⅰ	講	1	15	国内観光地理Ⅱ	講	1	15	
					海外語学研修	演	2	30	電話応対ベーシックⅠ	演	1	15	電話応対ベーシックⅡ	演	1	15	
									接客手話Ⅰ	演	1	15	接客手話Ⅱ	演	1	15	
									企業実習(JALカーゴ業務体験+インテックス実習)				実	2	60		
	小計		19	315	小計		22	345	小計		19	315	小計		18	330	
計	1年前期 計		26	420	1年後期 計		30	465	2年前期 計		25	405	2年後期 計		24	420	
	1年 計						56	885	2年 計						49	825	
	2年間 合計															105	1710

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
行事	スタートアップセミナー オリエンテーション合宿	サービス介助士 就職ガイダンス 中村学園祭 AAセミナーⅠ AAセミナーⅡ	オリエンテーション	中村学園祭

共通科目

シラバス(授業計画)

科目名	脳力開発Ⅰ・Ⅱ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：15 時間 後期：15 時間
担当	住友 大我				
	実務経験： ☒ ・ 無	トレーナー業、近年はトレーナー育成業を中心に 15 年ほどの実務経験があります。			
授業概要	心身ともに健康な状態で、社会人として長く活躍できるよう、メンタルトレーニングを中心とした脳の働き(脳力)を高める方法を学びます。				
到達目標	緊張からリラックス集中への反射を形成して、いつでも能力を発揮できるようになる。また、ストレスに対処する、ストレスを成長につなげる、モチベーションを高める、発想力を高めるなどの内容を、脳の働きをもとに理解する。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ ☒ 任意 名称：メンタルウェルネストレーニング基礎課程				
教科書 教材	授業用教材セット				
授業計画	・ メンタルトレーニング 思い方の練習(期待感と満足感を高める) 段階的リラクゼーション法(緊張からリラックスへの反射形成) 自律訓練法(リラックスした集中への反射形成) ・ ビジントレーニング 情報処理能力の向上(脳活ドリル、他) 視覚思考力、論理思考力の向上 ・ 脳力を発揮するための生活習慣 睡眠に関連する内容(疲労回復、記憶力、発想力との関連など) 運動、食事に関連する内容など ・ その他 自己分析(エゴグラム) メンタルヘルスに関連する内容(ストレスマネジメント、他) 能力発揮に関連する内容(目標設定、モチベーション、他)				
成績評価 方法	試験、出席率、平常点(提出物・授業態度など)の組み合わせで評価します。 詳細は、各期の初回授業で説明します。				
成績評価 基準	【試験】A: 80 点／％以上、B: 70 点／％以上、C: 50 点／％以上、D: 50 点／％未満 【出席率】A: 100％、B: 80％以上、C: 60％以上、D: 60％未満 【平常点】A: 優、B: 良、C: 可、D: 不可				

学生へのメッセージ

後期の授業内でメンタルトレーニングの検定試験を実施します。
合格した場合は、保有資格としてプロフィールなどに記載することが出来ます。
なお、受検料は発生しません。

シラバス(授業計画)

科目名	ビジネスコミュニケーションⅡ・Ⅲ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	講義・演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：15 時間 後期：15 時間
担当	岡田・橋本・担当講師				
	実務経験：有・ ☐				
授業概要	目的:観光・ブライダル業界人としてふさわしいビジネスマナーや必要知識を身に付けること。 概要:1 年次習得した基本のビジネスマナーを基にロールプレイを交えた発展的な内容を学ぶ。 また、一般常識や必要知識を学習する。				
到達目標	卒業後、新社会人として必要なビジネスマナーに関する知識を得ること。また、体現できること。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ ☒ 名称：秘書技能検定・ビジネス能力検定ジョブパス				
教科書 教材	秘書検定合格教本2・3級 新星出版社				
授業計画	【接遇】 ・アポイントから訪問・来訪マナー、名刺交換 ・電話応対 ・上座、下座 【一般常識】 ・ビジネス文書(基本文書体裁とルール、宛名書き) ・ビジネスメール ・ビジネス用語 【知識】 ・年金、税、保険 ・組織(役職)と部門 ・慶弔 ・その他社会人として必要な知識 ロールプレイ等を交えた実践的内容となると良い。				
成績評価 方法	評価試験には期末試験の他、演習試験や小テストを含みます。				
成績評価 基準	A:評価試験 80 点以上、出席率 85%以上、平常点優 B:評価試験 70 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C:評価試験 50 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D:評価試験 50 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	Let's Speak English Ⅲ・Ⅳ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：15 時間 後期：15 時間
担当	語学担当講師				
	実務経験：有・ ☐				
授業概要	「英語で外国人と会話が出来たら...」ちょっとしたスキルとちょっとした勇気で、それは誰にでも実現可能なことです。シンプルなキーセンテンスを応用して使えるように、会話、リスニング、アクティビティを通して練習していきます。クラスはレベル別に分かれますが、どのクラスも授業は出来る限り English Only で進めます。				
到達目標	日常的な話題について、シンプルな英語でコミュニケーションをとることが出来る。 異なる国や文化の人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとすることが出来る。				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	Speak Now Level 1 Student Book (Oxford)				
授業計画	【My Hometown】 Asking about & describing places, asking for & giving suggestions, asking for & giving directions. 【Shopping】 Prices & features, bargaining, frequency 【Food】 Quantities, needs, eating habits, describing food 【Past & Future】 Talking & asking about past events, introducing & reacting to news, future plans				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 評価試験(理解度)50%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験(理解度)50%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

Don't be shy! Do your best!

シラバス(授業計画)

科目名	キャリアデザインⅢ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期	単位数	前期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間
担当	就職担当				
	実務経験 : 有・ ☐ 無				
授業概要	1 年次とは変わり、就活情報の共有を主とした授業となります。 就活は各自の目指す業界、企業により開始時期や進行状況が異なりますので、個々の進行に応じ個別にバックアップし内定に向けサポート致します。また、内定者については自身も含めた就活情報の整理や入社に向けたビジネスマナーの習得をフォローしていきます。 後期には内定者を対象に就職交流プラザもあります。後輩への指導や自分達の学校、学科を誇りと出来るように積極的に自分の出来る事を考え、行動する時間としましょう。				
到達目標	1、内定及び進路決定を得ること。 2、社会人としての最低知識を有し、実行できること。 3、自身の就職活動をまとめ、後輩指導に役立たせられること。				
検定資格	☐ なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	CAREER ADVICE TEXT(インテリジェンス)				
授業計画	【就職活動実践】 就活サイトを利用した就活、企業研究、求人確認、業界・企業動向研究、自己PR・志望動機作成、履歴書・ES 作成、面接演習、GP ワーク演習、小論文演習、SPI 対策と模擬試験演習、企業講演 【内定後】 お礼状作成、内定報告書類作成、就活資料の整理 【ビジネスコミュニケーション】 ビジネスメール作成、受付と接遇対応、名刺交換、ビジネスルールの理解、ビジネスセールストーク術、時事問題、グループワーク演習				
成績評価 方法	期末試験の得点ならびに出席率がメインとなります。平常点は就職活動(進路活動)の取り組む姿勢、授業態度、提出物などが評価基準です。				
成績評価 基準	A: 評価試験 85 点以上 かつ 出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験 65 点以上 かつ 出席率 80%以上、平常点良 C: 評価試験 40 点以上 かつ 出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	卒業研究Ⅰ・Ⅱ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数	前期：30時間 後期：30時間
担当	各ゼミ講師				
	実務経験：有・ ☐ 無				
授業概要	この科目は、自身の興味ある分野を広く調査研究し深く考察することを目的とする。観光関連の中から自らがテーマを決め、主体的に調査・研究を行い、考察を入れてレポートを作成する。今まで学校で学び得た知識や経験、図書館やパソコン、見識者、実地踏査などの手段により情報を集め研究する。講師からの助言・指導を受けながら卒業までにレポートをまとめる。また、研究成果の報告としてプレゼンテーションを行う。また、ゼミ内で優秀な作品を選出し、全体でのプレゼンを行う。 なお、卒業研究レポートの中で秀逸なレポートについては、卒業時に「卒業研究レポート優秀賞」として表彰する。				
到達目標	①自身の調査した内容をレポートにまとめ提出する。 ②プレゼンテーションの作成及び発表を行う。				
検定資格	☐ なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	なし(適宜必要なプリントをゼミ担当者より配布)				
授業計画	【進め方】 ・卒業研究とは ・テーマの決め方 ・レポート作成における調査研究方法 【調査研究】 ・調査計画の作成 ・調査研究の進捗に合わせた個別指導 ・実施内容の確認 【レポートのまとめ】 ・レポート構成(序論、章、まとめ) ・レポート内容(目的、方法、結果、考察) ・文献資料を参考し作成する 【発表】 ・パワーポイントの作成 ・サマリーの作成 ・台本の作成 ・プレゼンテーション練習と本番での発表				
成績評価 方法	・平常点は授業取組姿勢、研究意欲等を考慮する。 ・以下の提出物は全て提出すること。 【提出物】前期:序論 後期:レポート・発表用資料				
成績評価 基準	A: 出席率 90%以上、平常点 優 B: 出席率 80%以上、平常点 良 C: 出席率 60%以上、平常点 可 D: 出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	国際交流			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	2 年 後期	単位数	後期：1 単位	時間数	後期：15 時間
担当	各担当講師				
	実務経験：有・ ☐ 無				
授業概要	コロナ禍により一時は海外との交流が途絶えてしまいましたが、それでも今後、私たちが多くの国籍の方たちに接し、共に暮らし、共に働く環境が復活することでしょう。この科目は、ITH ならではの校内で異文化に触れることが出来る環境を活かし、留学生との交流を通してお互いの「文化」「習慣」の違いを学び、理解を深めることを目的とします。				
到達目標	①外国人旅行者、移住者、働く仲間として交流のできる人材となる。 ②海外の方に伝えたい「日本の事」を動画で表現。社会に出た際に表現の組み立て、立案を行える事を目標。 ③日本の「文化」「習慣」をどのくらい知っていますか。自ら調査し接客に生かせる姿勢を身に着ける				
検定資格	☐ なし・必修・任意 名称:				
教科書教材	なし(適宜必要な資料、プリント等を配布)				
授業計画	【日本の生活調査】 個人ワーク、グループワーク ①年中行事、自然風土、スポーツ、音楽、食べ物など、様々な分野について考える。 ②観光庁資料から「外国人旅行者が日本にきて困った事」を調べる。 チームごとの「こうしたら良いのでは?」といった改善策を含ませてチームごとに発表。 【動画作成】 グループワーク チームに分かれてテーマを選び、徹底的に調査し(実地調査含む)、まとめる。 【発表・交流】 留学生、ネイティブ講師に対して発表をする。				
成績評価方法	・授業取組姿勢 ・発表内容 ・国際交流への意欲				
成績評価基準	A: 出席率 90%以上、平常点 優 B: 出席率 80%以上、平常点 良 C: 出席率 60%以上、平常点 可 D: 出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

キャビンアテンダントコース

専門科目

シラバス(授業計画)

科目名	English Communication Ⅲ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：30 時間 後期：30 時間
担当	Native teacher				
	実務経験：有・ ☐				
授業概要	Students will practise speaking, listening & reading skills on a broad range of topics.				
到達目標	The students will build on the English skills they gained in the first year, with the emphasis on communication skills.				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	Stretch 1 Speak Now Level 2 student Book with Online Practice (日本出版貿易)				
授業計画	【Cities, music & travel plans】 Question practice, invitations & suggestions, future plans 【Friends & family, restaurants and health】 Describing people's appearance & personality, describing restaurants and ordering food, health problems & advice. 【Jobs & free time】 Talking about jobs and ability, inviting & apologising. 【Travel, style & opinions】 Preferences, schedules, ideas & requests, giving opinions, agreeing & disagreeing				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験 70 点以上、出席率 80%以上、平常点 良 C: 評価試験 60 点以上、出席率 60%以上、平常点 可 D: 評価試験 60 点未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	TOEIC Advanced 対策Ⅲ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：2 単位 後期：2 単位	時間数	前期：45 時間 後期：45 時間
担当	担当講師				
	実務経験：有・ ☐				
授業概要	英語によるコミュニケーション能力評価する世界の共通テストである。 現在ほとんどの企業は TOEIC スコア保持者を採用条件として設定している。				
到達目標	航空会社の場合は 600 点～700 点を最低条件とする、その目標スコア獲得する。 さらにハイスコアを在学中に取得し、付加価値をつけて就職を有利にする。				
検定資格	なし・必修・ ☒ 名称：TOEIC				
教科書 教材	国際ビジネスコミュニケーション協会発刊の公式問題集から配布資料を作成しテキストとする。Listening は発話者のクセに慣れるように徹底的に聞き取り練習を実施。 1 年次購入の effective Approaches to Grammar & Reading on the TOEIC Test (ASAHI PRESS)も併用する				
授業計画	【Listening 演習】 写真描写問題／応答問題 公式問題集を使用して演習問題を反復 【Listening 演習】 会話問題／説明文問題 【Reading 演習】 短文穴埋め問題／長文穴埋め問題 【Reading 演習】 読解問題／1つの問題／2つの問題				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

卒業時までには目標スコア達成を！！ Practice Makes Perfect!!

シラバス(授業計画)

科目名	外客接遇Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	湊 さやか 実務経験： ☒ 有・無 エアライン業界にて客室乗務員として7年間の実務経験あり。				
授業概要	これからは、日本人、外国人に関係なく広く関わりを持って働く時代となります。外国人が日本および日本人に期待することは何でしょうか。そのニーズに応えるために必要な知識とマナーを習得します。日本人と外国人の価値観や習慣の違いを理解し、それぞれに相応しい「おもてなし」を考えます。				
到達目標	日本と外国との違いを学び、理解する。 グローバルな視点を身につける。				
検定資格	☐ なし・必修・任意 名称：				
教科書 教材	なし				
授業計画	【宗教について】 キリスト教 イスラム教 仏教 ヒンドゥー教 【国民性について】 アメリカ人の国民性 アメリカ人とイギリス人の違い イタリア人の生活習慣 ドイツ人と日本人 タイ人の国民性 【マナー】 西洋のマナー 【訪日外国人へのおもてなし】 接客ロールプレイ				
成績評価 方法	授業への参加意欲 期末試験				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率90%以上、平常点優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率80%以上、平常点良 C: 評価試験(理解度)60%以上、出席率60%以上、平常点可 D: 評価試験(理解度)60%未満、出席率60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	パソコンスキルⅠ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：15 時間 後期：15 時間
担当	愛澤 純子				
	実務経験： ☒ 有・ ☐ 無	パソコン講師として実務経験あり。			
授業概要	現代社会において、仕事上 PC 操作は必須です。1 年時の学習を踏まえて実践力を習得する。ワードではビジネス文書作成、エクセルでは基本関数およびグラフによるデータの視覚化とデータ分析力を修得する。また、パワーポイント操作ではプレゼンテーション資料の作成を修得する。				
到達目標	ワード・エクセルを含めたPC操作の基本を理解し、ビジネス文章の作成や、データからグラフ作成・データベース操作、パワーポイントを利用したプレゼンテーション資料が作成できるようにする。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ ☒ 任意 名称: 日本語ワープロ検定・マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)検定				
教科書 教材	なし(適宜プリントを使用します)				
授業計画	【PC基本操作の確認】 1 年時に学習したキーボードを利用しての入力練習(英数字・かな・漢字変換・文字の修正)、ワープロソフトを使い文章入力を復習する。 ホームポジションを意識した入力を実施する。 【ワード基本作業】 文章入力練習を行う。 ワードアート・図形描画を利用した表現力のある文書作成を行う。 ビジネス文書の基礎や仕組みを学び、手書き問題からビジネス文書を作成する。(表作成含む) 【パワーポイント基本作業】 操作方法を学習し、プレゼンテーション資料を作成する。(20分で1枚程度作成を目標とする。) 【エクセル基本作業】 データ入力の基本を学ぶ。 データ入力の基本を理解し、関数を利用した表計算機能やデータベース操作を学習する。 データを利用してグラフ作成を行い、視覚的分析力の方法を学ぶ。				
成績評価 方法	※平常点は、授業への参加度や授業態度などを加味して 20 点満点とし、上記評価点数に組み込まれる。 ※ワード、エクセル共に、文書作成を課題として提出する。				
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 80%以上、課題提出、平常点 15 点以上優 B: 評価試験 70 点以上、出席率 70%以上、課題提出、平常点 10 点以上良 C: 評価試験 50 点以上、出席率 60%以上、課題提出、平常点 5 点以上可 D: 評価試験 50 点未満、出席率 60%未満、課題未提出、平常点 5 点未満不可				

学生へのメッセージ

ワープロ、表計算、プレゼンソフトでは入力速度も必要となるので、日頃から入力練習をしておくことが望ましい。

シラバス(授業計画)

科目名	時事研究Ⅲ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：15 時間 後期：15 時間
担当	湊 さやか				
	実務経験：有・ ☐				
授業概要	日々のニュースに関心を持つことは、社会人として必須です。授業を通して新聞を読む習慣をつけると共に、そのニュースに対して自分の考えを持てるようにします。				
到達目標	①時事問題への理解を深める。 ②思考力を養う。 ③伝える力を磨く。				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	なし（新聞を使用）				
授業計画	【グループワーク】 文化、国際・外交、政治・経済、環境・災害、交通、教育、医療・福祉、といったテーマについて、 ①新聞記事を読む。 ②内容について、グループで話し合い、理解を深める。 ③意見を出し合う。 ④発表を行う。 後期はチームごとに担当で記事を選び、ディスカッションテーマを提示します。 選んだ記事はしっかりと読み込み、自分でも考えを持って臨んでください。				
成績評価 方法	授業への参加意欲 チームワーク 発表内容の成熟度				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験(理解度)60%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	ワイン入門			科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期	単位数	前期：1 単位	時間数	前期：15 時間
担当	松平 和宏				
	実務経験： ☒ 有 ☐ 無	ホテル業界にて料飲部門(宴会・バー)実務経験あり。			
授業概要	「空飛ぶソムリエ」としての役割と仕事を理解し、基礎的なワインの知識を学ぶ				
到達目標	エアラインに必要な、ワインに関する基礎的な知識の習得				
検定資格	☐ なし				
教科書 教材	※配布資料有 日本ソムリエ協会 教本より抜粋				
授業計画	【酒類概論とワイン概論】 5 コマ 酒税法による分類それぞれの特徴を理解する。 ぶどうの原料や製造方法による味わいの違いなど 【ワインのサービスとテイasting理論】 4コマ 白、赤、ロゼ、スパークリングそれぞれのワインのサービス法 ワインテイastingの目的とその方法 【ワインに関するその他の知識】 3 コマ 「空飛ぶソムリエ」としての役割と仕事 ワインと料理のマリアージュ ワインの健康法、輸入の流れなど ソムリエ(ソムリエール)の資格やワインの輸入について 【復習、テスト】 3 コマ ここまでの学習の復習と理解度のテスト				
成績評価 方法	授業内にて学期末テストを実施。また、出席率、平常点(授業参加意欲)を加えた総合評価で判断。				
成績評価 基準	A: 評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験 60%以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	中国語Ⅲ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：30 時間 後期：30 時間
担当	張翼飛				
	実務経験：有・ ☐				
授業概要	この授業は1年の発音と基本文法を学習後の応用コースです、主に初歩的な表現とその応用を中心に行い、特に空港もしくは空港関連する職場で使う会話を取り入れたいです。				
到達目標	空港でよく使う中国語フレーズを会話できるように。				
検定資格	なし・必修・ ☐ 名称:中国語検定試験				
教科書 教材	中国語初歩の初歩（高橋書店） 講師作成プリントに基づき学習します。				
授業計画	【中国語の概要】 ピンインと四声の復習 基本の挨拶と呼びかけ 出会いと別れの挨拶 【空港で使える中国語を学習】 チェックイン編 出国編 免税編 搭乗編 機内編 【空港で使える中国語の会話練習】 空港で搭乗口の場所を教える時に使う中国語 空港で荷物の重さ制限の説明する時に使う中国語 空港で危険物を尋ねる時に使う中国語 【テストと復習】 テストと復習				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

中国語を習得してから、日常生活楽しいこともひとつ増えますし、就職も役に立ちますし、自信もついて来ますし、ぜひ中国語授業を楽しんでください。

シラバス(授業計画)

科目名	韓国語 Ⅲ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：30時間 後期：30時間
担当	渡部 茂				
	実務経験：有・ ☐				
授業概要	教科書の各場面の例文をなぞり、語句を入れ替えながらシャドーイング法を取り入れることで、更なる実用的な会話の練習をする				
到達目標	一年次で学んできた韓国語の約束事を応用し、各場面・状況に即した例文を反復練習することで、自己のオリジナル表現と、より高度な複文の発話運用が出来るようになること				
検定資格	なし・必修・ ☐ 名称：ハングル検定（日本主催）、韓国語能力試験（韓国主催）				
教科書教材	「例文をなぞって覚える 場面別会話集」 渡部 茂 著				
授業計画	1. 基本的な会話 一日の挨拶、何を召し上がりますか、こちらどうぞ 等 2. 日常会話 「ITHB学校」はどこですか、ITHB学校で何を学んでいますか 等 3. 旅行・観光 機内にお忘れ物が無いように、お飲み物はいかがですか、酸素マスクの説明書もあります 等 4. ホテル滞在 部屋を予約したいのですが、少々お待ち頂けますか調べてみます、非常口はどちらに行けば 等 5. 飲食会話 この近くに美味しい食堂はありますか、友達二人が遅れて来ます、窓側の禁煙席をお願いします 等 6. 交通・乗り物 「ITHB学校」まで行って下さい、千葉駅はどこですか、友達と隣の席にして欲しい 等 7. ショッピング プレゼントを買いきたいのですが、サイズがもっと大きい物を見せて下さい、試着室はどこですか 等 8. 美容・エステ・整形 垢すりに行かない、キュウリパックをお願いします、明るい色に染めてみようかな 等 9. 看病・介護・病気 コロナ肺炎には気を付けなくてはね、病院で注射を打ってもらいました、どのくらいで良くなりますか 等 10. 感情表現 胸がいっぱいです、もう少し考えさせてくれる、私の話し最後まで聞いてよ、あれ 恥ずかしいな 等 11. 人生の出来事 結婚おめでとうございます、余りに感動して涙が出ました、ウェディングドレス姿がとても素敵です 等 12. スマホ・パソコン この場所電波が悪いな、ハングルの入力の仕方が分かりません、アドレス教えてくれる 等				
成績評価方法	出席の状況並びに積極的な授業参加の意欲・姿勢等 授業内実施の各単元整理の演習小テストの理解度				
成績評価基準	A：出席率 80%以上、評価試験(理解度)80%以上、平常点 A B：出席率 70%以上、評価試験(理解度)70%以上、平常点 B C：出席率 60%以上、評価試験(理解度)60%以上、平常点 C D：出席率 60%未満、受験不可				

学生へのメッセージ

外国語はただ読めるだけで終わらず、自分の言葉で自己主張が出来る発信がポイントである。
今後のグローバル化の進展の中で、コミュニケーション道具の一部と認識し、就職活動中や内定後であっても、ペースダウンすることなく、積極的に授業参加に努めて欲しい。労働力不足傾向の日本社会の将来を踏まえ、自己発信力として活用することで、自己存在の確立を高める姿勢が重要だ。

シラバス(授業計画)

科目名	航空機研究			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期	単位数	前期：1 単位	時間数	前期：15 時間
担当	逢坂 理恵				
	実務経験： ☒ ・ 無	航空貨物取扱企業にて職員教育担当の実務経験あり。現在も航空貨物取扱企業勤務。			
授業概要	航空業界で働くための基礎となる知識、特に航空機とその周囲で働くスタッフについて学びます。 また航空機の事故事例から“空の安全”について考え、将来の職場でも安全に対し意識をもって仕事ができるように、安全の重要性を学びます。				
到達目標	航空会社業務への理解を深める。 航空業界の責任について学ぶ				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	講師作成教材				
授業計画	【航空機の歴史と原理】 航空機や航空会社の成り立ち、航空機の種類と構造 航空機が離陸するためにかかる力と原理 【航空機の整備と機体構造】 整備業務と資格要件 機体の部位と機種ごとの違い 【航空機を囲む人々と作業】 航空機が出発するまでの流れと携わるスタッフ 航空機の周囲で使用される支援機材 【航空機の安全/全体復習】 バランスの重要性和航空機事故の紹介 まとめ				
成績評価 方法	学期末に行う評価試験、出席状況と授業参加意欲により評価される。 (評価試験は欠席の場合、0 点として取り扱う)				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)39%以下、出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

航空業界を目指す上で必要な知識が満載です。飛行機の仕組み、航空業界の仕事について学びながら、就職活動や就職後の仕事にも活かせる知識を学んでいきましょう。半年間、よろしくお願いいたします。

シラバス(授業計画)

科目名	エアライン受験対策Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期	単位数	前期：1 単位	時間数	前期：15 時間
担当	担当講師				
	実務経験： ☒ ・ 無	エアライン業界にて地上職及び客室乗務員として実務経験あり。			
授業概要	面接試験の本番に向けて、自覚と自信を強めるための講座です。 1 年次に学習し練習を重ねた内容を再確認しながら、面接の種類によってアプローチの方法を変え、業種や企業ごとに過去問題を使用して本番に備えていきます。フラッシュカードを使って質疑応答の際に必要な瞬発力を鍛え、受け答えの様子を撮った動画を見ながら、自分自身を客観的に分析し必要な部分を改善していきます。				
到達目標	○緊張している自分を客観視できるようになる。 ○本来の自分らしさを損なうことなく自己表現できるようになる。 ○自信を持って、自分らしく面接試験の本番に臨むための準備を整える。				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	適宜プリント配布				
授業計画	① 導入：一年次の復習及び進捗状況の確認 （自己分析・企業研究・ESに関する個々の進捗状況及び進路変更等） ② 模擬面接：面接の種類とそれぞれの目的・流れ・チェックポイント等の説明 （グループ・個人・グループディスカッション） 企業や業種ごとに分かれ、過去問を使って質疑応答練習 過去に出題されたテーマで、時間を計ってディスカッション練習 ③ 模擬面接：ペアワーク 進捗状況に近い者同士でペアを組み、フラッシュカードで瞬発力を鍛える 質疑応答の様子を互いに動画撮影し合い、改善点を探す 【適宜対応】個々の進捗状況や企業の募集時期に応じて、エントリーシートの添削・個人指導				
成績評価 方法	評価試験・自己PR/志望動機の進捗状況・出席状況・授業参加意欲(平常点)の総合評価で判断する				
成績評価 基準	A：評価試験 90%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 70%以上、出席率 70%以上、平常点 可 D：評価試験 70%未満、出席率 70%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

就職活動とは、他者との比較や競争ではなく、自分自身の過去・現在・未来とじっくり向かい合う地味な作業の事だと私は思います。納得できる就職をするために、一緒に頑張りましょう！

シラバス(授業計画)

科目名	CA実務Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数	前期：15時間
担当	湊 さやか				
	実務経験： ☒ ・ 無	エアライン業界にて客室乗務員として7年間の実務経験あり。			
授業概要	1年次のCA入門、実務Ⅰに引き続き、将来客室乗務員として働くために必要な航空業界の知識を習得します。実務Ⅱでは、サービス要員として行う機内販売で取り扱うブランド商品について学び、各国通貨での支払いの計算方法を習得します。また、航空機事故や緊急事態の事例を学習することにより、保安要員としての役割をしっかりと認識し、客室乗務員の使命を理解します。				
到達目標	①学習内容を全て理解し、習得する。 ②客室乗務員の使命を理解したうえで、なることへの意欲を新たにする。				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	なし(プリント配布)				
授業計画	【VISA/乗り継ぎ】 VISAの種類 乗り継ぎにおける出入国審査と税関 【各国通貨/免税品】 世界の通貨について 機内販売での通貨計算 ブランドとその特徴 【危険物】 危険物の種類とカテゴリー 【保安要員/緊急時対応】 機内の違反行為について ハイジャック 航空機事故の事例 安全対策 【期末テスト】				
成績評価 方法	授業への参加意欲 期末テスト				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験(理解度)60%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	接客手話Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：15 時間 後期：15 時間
担当	担当講師				
	実務経験： ☒ 有 ・ ☐ 無	江戸川区登録手話通訳者			
授業概要	ユニバーサルサービスとして接客における手話を身に着ける。前期は 5 級の単語学習中心におこない、後期は 4 級単語学習を行う。聴覚障がいをお持ちのお客様に対して手話でのコミュニケーションがとれるようにする。				
到達目標	1 年次においては手話検定 4 級レベルを目指す。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ ☒ 任意 名称: 手話技能検定 4 級				
教科書 教材	手話技能検定公式テキスト 3・4 級（日本能率協会マネジメントセンター）				
授業計画	【日常生活に必要な基本を学習Ⅰ】 あいさつ・天候・疑問・数字・日にち・時間・家族・色・方角・感情・動作・自然・仕事などを学習する。 【日常生活に必要な基本を学習Ⅱ】 食べ物・動物・スポーツ・趣味・乗り物・形容詞・副詞・施設・地名・接客手話などを学習する。 【日常生活に必要な基本を学習Ⅲ】 ホテルで使う手話や検定対策に向けて過去問題の学習を行う。 【聴覚障害概要の学習】 手話とは・聴覚障害者とは・耳の構造・聴覚障害の種類・聴覚障害者数・聞こえのレベル・身体障害者等級・聴覚障害者のコミュニケーション方法・合理的配慮・手話言語条例・強味と弱味・ろう文化など				
成績評価 方法	授業内におこなう実技試験と期末試験、出席率、授業態度を総合的に評価します。				
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 80%以上、平常点優 B: 評価試験 70 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 評価試験 50 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験 50 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	異文化理解 I (韓国)			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期	単位数	前期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間
担当	渡部 茂				
	実務経験 : 有・ ☐				
授業概要	朝鮮戦争後の韓国の土台は、米国が作ったと言っても過言ではない。儒教精神と民主主義、この現代の葛藤を、時系列的にドキュメント映像記録を通してみていく。				
到達目標	スマホ情報過多の今日、所謂、「K-POP・韓国料理・化粧品」等の表象的な事象で、はたして日韓関係を改善出来るのか。各自の嗜好に囚らない冷静な情報分析能力を磨き、不測の事態に対して臨機応変に対応し、問題解決力と発見力、論理的かつ批判的思考力を、この授業を通して習得することにある				
検定資格	☐ なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	映像資料と授業内容に関連した講師オリジナルのプリントを適宜配布				
授業計画	【韓国とは】【人と言語と歴史】の考察 ・東アジアの朝鮮半島（米国と中国の大国間の緩衝地帯、右往左往する韓国の現状） ・韓国の歴史的な背景と今日の韓国（民主化よりも感情的優先性の優位並びに血族的優先性の横行） ・韓国の使用言語の解説（言語歴史が浅いハングルとは） ・ウリ(内) と ナム(外) 的な独特な思考法とは（自分には甘く他人には厳しく） 【韓国の国内外事情】の考察 ・日韓併合と後の日韓基本条約（条約にある個々人の賠償請求がいつまでも終わらない真の理由とは何か） ・李承晩ライン、竹島問題・徴用工・従軍慰安婦問題（永年の謝罪と賠償でさえも解決不可能な真の理由とは） ・韓国の宗教事情、儒教の家長中心の集団社会で個人的観念のキリスト教がなぜ普及したか（全体と個人） ・韓流ドラマ、K-POP等の人的資源での外貨の獲得事情とその自殺率の高さは（飽きられてしまうコンテンツ） ・コピー商品の横行と「不買運動」が途中頓挫するのはなぜか（ケンチャナヨ精神の可否） 【東アジアを見据えた近隣諸国の中の韓国の大義名分】の考察 ・韓国の財閥事情（財閥の形成と贈収賄事件の多発性と庶民に対する横暴性） やつかみと妬み ・韓国の大統領権限と国会の機能役割（国民の直接選挙と任期末期の逮捕劇の永遠な解消法はないのか） ・貿易立国と若者の失業率（上場企業の異常なまでの外資の高い資本率構成と国内の雇用形態） ・有史以来の対中国との関係は（主従関係の不可避的现代版、今でもなぜ主従関係に甘んじているのか） ・中国の「一帯一路」経済圏構想か日本側の環太平洋パートナーシップ協定かの帰属問題（揺れる国策） 【韓国をどう見る】【未来志向の日韓関係】の考察 ・儒教は宗教か（男尊女卑のテーマと上からの目線は今でも続く） ・日韓語学留学と姉妹校の促進（文化的交流のみで日韓の政治の流れは簡単に変えられるのか） ・在日不法滞留者（変わらない日本国内一位を保つ不法滞在者数） ・各回レポートの提出（返還しない）				
成績評価 方法	講義後の提出レポートの内容性（40/100）と、期末試験（60/100）と出席率（60%以上が前提）				
成績評価 基準	A: 出席率 80%以上、評価試験(理解度)80%以上、平常点 A B: 出席率 70%以上、評価試験(理解度)70%以上、平常点 B C: 出席率 60%以上、評価試験(理解度)60%以上、平常点 C D: 出席率 60%未満、期末試験受験不可				

学生へのメッセージ

「常識とは何か」、国や民族、宗教が変われば、当然視点も違うし考え方も変わる。今日、世界が内向き政治の傾向にある中で、パスポートの色違いを背景に、私情の判断をしがちである。授業内の資料ベースは恣意的なものではなく、あくまでも過去の事実と判断材料を提示するものであって、相手国を非難糾弾する内容のものではない。当該国を固定観念ではなく、柔軟な視点で捉えながら、日韓関係の良好な関係構築の契機にしてほしい。

シラバス(授業計画)

科目名	ワールドデスティネーションズⅢ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	エアラインキャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期 後期	単位数	前期 : 1 単位 後期 : 1 単位	時間数	前期 : 30 時間 後期 : 30 時間
担当	担当講師				
	実務経験 : ☒ 有 ・ ☐ 無 旅行業界にて旅程管理実務経験あり。現在も添乗員として勤務。				
授業概要	みなさんが本校で学ぶ科目の多くは、世界地理の知識を必要とします。 本科目の目的は、2 年間で、①世界の主だった渡航先や輸出入が行なわれる国々について幅広く学び、<u>基本的な知識</u>を身に着けること、②アマデウスやディプロマ等、他科目の学習の手助けとなること、③みなさんの興味を広げていただくこと、の 3 点です。 2 年次では、①主に日本人渡航者が多く訪れる箇所の特徴や魅力、気候、文化、特産品、②日本へ空輸される物品について、③時差、通貨、言語、文化風習について、理解を深めます。 なお、本科目は、<u>世界遺産検定</u>／<u>海外地理検定</u>／<u>観光英検等</u>の受検対策を目的とはしていません。 また、授業内容・順番は変更になる場合があります。				
到達目標	世界の主要な国、都市を地図上で直ちに指し示することができる。日本からの主だった渡航先について、文化や観光資源を理解することができる。日本への空輸品と国の特徴を結び付けて考えることができる。時差、通貨、言語				
検定資格	☐ なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	海外旅行地理ベーシック 400 (JTB 総合研究所) 旅に出たくなる地図世界 (帝国書院) プリント適宜配布				
授業計画	【アジア各論】 韓国／中国本土／台湾／香港／ベトナム／カンボジア／タイ／マレーシア／シンガポール／インドネシア／フィリピン／インド 【オセアニア各論】 オーストラリア／ハワイ／グアム・サイパン 【北米各論】 アメリカ合衆国／カナダ 【中南米各論】 メキシコ／ブラジル／ペルー／チリ／アルゼンチン 【ヨーロッパ各論】 英国／フランス／スペイン／オーストリア／スイス／ドイツ／イタリア／EU とシェンゲンについて 【中東・アフリカ各論】 トルコ／エジプト／南アフリカ共和国／中東エリア 【後期期末試験と解説】 期末試験／解説 各期 2 時間ずつ				
成績評価 方法	評価試験、出席率、授業態度、意欲				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、かつ出席率 80%以上、かつ平常点 優 B: 評価試験(理解度)60%以上、または出席率 70%以上、または平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、または出席率 60%以上、または平常点 可 D: 評価試験(理解度)40%未満、または出席率 60%未満、または 平常点 不可				

学生へのメッセージ

“デスティネーションズ Destinations”とは、「旅行などの目的地」という意味です。航空会社や空港、貨物等、国際的なものに関わって活躍しようとする皆さんにとって、世界の地勢や国々に関する基本的な情報は必須です。

机の上で一緒に旅をしながら、世界への知識を深めましょう。

1 年次同様、みなさんの意欲的な授業の参加を、期待します。

シラバス(授業計画)

科目名	Airline English II・Ⅲ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期 後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：15 時間 後期：15 時間
担当	語学担当講師				
	実務経験：有・ ☐				
授業概要	航空業界で働く際に遭遇する場面での「仕事で使えるフレーズ」を覚えることを目的とします。 2 年次の前期はセキュリティ、免税店、搭乗ゲート、そして後期は機内での会話やアナウンスを習得します。シンプルなキーセンテンスを応用して使えるように、会話、リスニング、アクティビティを通して反復練習をしていきます。				
到達目標	テキスト Airline English II とⅢの Conversation を暗記し、空港スタッフやキャビンアテンダントのパートを、テキストを見ないで会話することが出来る。				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	オリジナルテキスト				
授業計画	【保安検査場で使う英語】 ・液体物の持ち込み ・セキュリティチェック ・手荷物検査 【免税店で使う英語】 ・アルコール飲料の購入 ・乗継便の案内 ・お支払いについて 【搭乗ゲートで使う英語】 ・お客様の呼び出し ・搭乗開始アナウンス 【復習/会話テスト】 ・復習 ・1 人ずつ会話テストを実施 【機内で使う英語】 ・安全のご案内 ・機内アメニティ ・機内食のサービス ・お飲物のサービス ・機内免税品の販売 ・緊急時の対応 【復習/会話テスト】 ・復習 ・1 人ずつ会話テストを実施				
成績評価 方法	評価試験は会話テストを実施し、出席率・授業態度と総合して評価します。				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 評価試験(理解度)50%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験(理解度)50%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	国内観光地理Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	松川 信也 実務経験： ☒ 有 ・ 無 元添乗員、旅行コンサル会社経営。総合旅行業務取扱管理者。				
授業概要	空港での業務でも、日本国内のさまざまな地方から来た旅客と出会う。また日本人として観光の専門学校を卒業する以上、知っておいてほしい国内の観光地理の知識がある。当授業では、できるだけ視覚に訴える方式(DVDやパワーポイント使用)で知識定着を図る。前半で基礎的な日本の観光地を学習し、後半では応用地理としての「国内旅行を楽しむ」トピックスを学習する。				
到達目標	①日本の有名観光資源について、基本的情報を説明できる。 ②応用地理としての「国内旅行を楽しむ3テーマ」(駅弁・日本神話のふるさと・日本のパワースポット)を理解し、旅行を楽しむ手段を説明できる。				
検定資格	☒ なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	なし(配付プリント対応)				
授業計画	I.【2022 国内旅行の動向把握】 現在のコロナ騒ぎの終結を視野に、講師が独自の観点で分析した 2022 年の国内旅行の動向を数点プレゼンテーションする。空港で出会うお客様とのコミュニケーション、あるいは自身が旅行する際の基礎知識を身につける。 II.【日本の美しい風景】 基本中の基本となる国内の 47 都道府県と県庁所在地を把握した後、パワーポイントやDVDを利用し、日本国内の主要観光地情報を把握する。 III.【日本の世界遺産】 ここ数年毎年のように新規「世界遺産」が日本に誕生し、観光振興に一役買っている。国内に存在する「世界遺産」23 か所をまとめて学習する。パワーポイント画像使用。 IV.【応用地理:国内旅行を楽しむ】 国内旅行を楽しむ手段としての3つの切り口(①駅弁②日本神話のふるさと③日本のパワースポット)から観光情報を講義する。				
成績評価 方法	前期、後期とも各パートごと終了時に小テスト(平常点としてカウント)、期末に評価試験を実施する。欠席は0点扱いとなるので注意。各期とも、評価試験、出席率、平常点の総合評価とする。				
成績評価 基準	A:評価試験 80 点以上、かつ 出席率 80%以上、かつ 平常点優 B:評価試験 60 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点良以上 C:評価試験 40 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点可以上 D:評価試験 40 点未満、または 出席率 60%未満、または 平常点不可				

学生へのメッセージ

週に1回、空港の専門科目から離れて、折角観光の専門学校に来た皆さんに国内旅行の楽しさを学んでいただきます。ぜひ皆さんにも、日本人として国内旅行の楽しさを体得してください。

シラバス(授業計画)

科目名	電話応対ベーシックⅠ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	岸田輝美				
	実務経験： ☒ ・ ☐ 無	電話応対・マナー講師実務経験あり。現在は、マナー会社取締役。			
授業概要	あらゆるビジネスシーンに必要な「電話応対」には、正しい日本語の使い方・基本的なビジネスマナー・様々な状況に臨機応変に対応することができるコミュニケーション能力が求められます。本授業では、実践ですぐに役に立つ、社会人として最低限に必要なスキルを身に付けていく「電話総合ビジネスマナー」を学んでいきます。				
到達目標	実践ですぐに役に立つ電話応対を学ぶ。信頼関係を築くためのコミュニケーションスキルを習得します。訓練用模擬電話機「てるコーチX」でトレーニングをして即戦力を目指す。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ ☒ 任意 名称: 電話応対技能検定4級				
教科書 教材	ビジネスマナーテキストブック(ビューティフルマナー株式会社出版) 前向きな言葉の作り方実践ワークブック(一般社団法人日本ベップトーク普及協会)				
授業計画	【総合ビジネスマナーの概要】 社会人として必要なマナー(人を思いやる心)を「武士道」から理解する。 人間関係を支える基本マナーは「愛」を学ぶ 【日本語の特徴】 敬語の由来、慣用句等に触れ美しい日本語の表現を学ぶ 敬語の5つの基本形を学ぶ おもてなしの表現を研究する(ステップアップ) 【電話応対のマナー】 「正確・簡潔・丁寧・迅速」、電話応対の注意点や電話のかけ方、受け方、取り次ぎ方、常套句等、 実技トレーニングをしていく 【いろいろな場面での電話応対】 電話の第一印象であるオープニングの解説と実技トレーニング 電話の向こうの「あなた」に爽やかな余韻を残しての終話(クロージング)の解説と実技トレーニング 【前向きな言葉を意識する】 ポジティブな言葉を使うことで自分を周りを前向きな気持ちにしていきます				
成績評価 方法	学期末には評価試験を行う。 評価試験を欠席した場合は、0点として取り扱う。出席状況、授業参加意欲も評価される				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

社会に出たら会社の代表として電話に出ます。あなたの応対が心地よいからこの会社をお願いしたいと言われるようにファンづくりに繋がっていきましょう。電話というツールを活かして対人とのコミュニケーションスキルを学びましょう

シラバス(授業計画)

科目名	English Interview			科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期	単位数	前期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間
担当	担当講師				
	実務経験 : ☒ ・ 無	エアライン業界にて地上職及び客室乗務員として実務経験あり。			
授業概要	英語面接試験の目的、企業や国ごとの傾向と対策を学び、各自が効果的に英語で自己表現できる方法を見つける事が目的の講座です。業界定番の質問や過去に使われた質問を用い、それに対する応え(答え)方を身につけていきます。				
到達目標	各自の英会話力と人間性に沿った自然な表現や語彙を用いて、自分自身を効果的にPRできるようになる。				
検定資格	☒ ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	適宜プリント配布				
授業計画	●導入: 自己紹介とレベルチェック (Tell me about yourself) 英語での自己紹介と簡単な質疑応答 ●目標設定(逐次変更): 志望企業の応募資格(英語レベル)・募集時期の確認と目標設定 日系企業が行う英語面接試験の目的 外資系企業で必要な英語力とその理由 ●模擬面接: 過去の質問 企業や国ごとの特色/傾向を知り、対応方法を学ぶ 定番の質問とその目的の再確認 進捗状況に応じた個人指導				
成績評価 方法	評価試験・出席状況・授業参加意欲(平常点)の総合評価。				
成績評価 基準	A : 評価試験 90%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B : 評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C : 評価試験 70%以上、出席率 70%以上、平常点 可 D : 評価試験 70%未満、出席率 70%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

英語力は英語の授業で伸ばしてください。この授業では、CAの採用面接において「英語で何をどう話すか」を学びます。

シラバス(授業計画)

科目名	空港あれこれ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	2年 後期	単位数	後期：1単位	時間数	後期：15時間
担当	松川 信也				
	実務経験：有・ ☐ 無				
授業概要	1年次より蓄積してきた航空業界についての専門知識を、また別の観点から補完、拡充する。国内に目を向ければ、「新幹線」VS「航空」の構造、また利用者の観点から航空利用にあたっての知っていると便利な知識を、数点学習する。				
到達目標	①日本の国内旅客運送に関し、「新幹線VS航空」の経緯や構造を説明できる。 ②航空業界の各種最新トピックス、新しい空港名、LCC動向、等について説明できる。				
検定資格	☐ なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	【成田と羽田 最新事情】 日々進化している成田、羽田の最新事情。AIによる空港サービスも導入されつつある。利用者から見た東京の2大空港の現状を研究する。 【国内航空～永遠のライバル新幹線】 国内の旅客運送において、永遠のライバル関係と言える「航空」VS「新幹線」。その歴史と意義を把握し、今後の国内旅客運送の動向を推測する。 【国内・海外の「空港名」～そのお国柄】 日本国内も、海外でも、突然空港名が変更になったりする。その地域に貢献した人物名をつけたり、地域の観光資源の名称をつける空港もある。それらの主なものを把握して、その地域(国)の特性を把握する。 【LCCの最新動向把握】 まだまだフルサービスキャリアが主体の日本のエアラインだが、海外ではLCCがすでに主体の地域もあり、日本でもジワジワと増えている。その最新状況を把握する。				
成績評価 方法	小テストを各パート終了時に実施し平常点扱いとし(欠席の場合は0点となるので注意)、期末試験を評価試験として実施する。平常点、出席率、評価試験合計点の総合評価。				
成績評価 基準	A:評価試験 80 点以上、かつ 出席率 80%以上、かつ 平常点優 B:評価試験 60 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点良以上 C:評価試験 40 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点可以上 D:評価試験 40 点未満、または 出席率 60%未満、または 平常点不可				

学生へのメッセージ

元旅行の添乗員の講師が、あくまで利用者の立場で空港のさまざまなトピックスを解説します。空港についての見聞を広げて、実務に役立ててください。

シラバス(授業計画)

科目名	リスクマネジメント			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	2 年 後期	単位数	後期：1 単位	時間数	後期：15 時間
担当	湊 さやか				
	実務経験： ☒ ・ 無	エアライン業界にて客室乗務員として7 年間の実務経験あり。			
授業概要	①いざという時、周りにいる人がすぐに手当てを行えば、救命の可能性は高くなります。この講義では、空港や機内などでのとっさの手当や予防に役立つ知識を学び、「赤十字ベーシックライフサポーター」の資格を取得します。 ②東京臨海防災公園で、防災への関心を高め、実際に災害に対応できる知識や技術を習得します。				
到達目標	①人工呼吸の方法、AED の使用法を習得し、いざという時に躊躇なく実践できるようにする。 ②災害時に何が起きるのか、どう行動すれば良いのか、を理解する。				
検定資格	なし ・ ☒ 必修 ・ 任意 名称:赤十字救命法基礎講習「赤十字ベーシックライフサポーター」				
教科書 教材	①赤十字救急法基礎講習での配布テキスト ②なし				
授業計画	【赤十字救急法基礎講習】 手当の基本 人工呼吸・胸骨圧迫の方法 AED(自動体外式除細動器)の使用法 気道異物除去の方法 【東京臨海防災公園での防災体験】 東京直下 72h TOUR 体験 津波体験				
成績評価 方法	評価試験については、期末に試験を実施。その他の項目については、下記成績評価基準に順じ評価を行います。				
成績評価 基準	A:評価試験(理解度)80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B:評価試験(理解度)70%以上、出席率 80%以上、平常点良 C:評価試験(理解度)60%以上、出席率 60%以上、平常点可 D:評価試験(理解度)60%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	異文化理解Ⅱ(中国)			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	2 年 後期	単位数	後期 : 1 単位	時間数	後期 : 15 時間
担当	張翼飛				
	実務経験 : 有・ ☐ 無				
授業概要	前期中国語の基本発音、文法及び基本会話を習得しました、後期視聴覚資料を使って、中国や中国の文化、行事、料理、生活習慣、中国人の性格などを紹介します。				
到達目標	中国事情を理解し、教養を身につけ、来日中国のお客様に円滑に対応できるように。				
検定資格	☐ なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	講師作成プリントに基づきを学習します。				
授業計画	【中国概要】 中国の地図、 中国の歴史と近代歴史 中国の漢族と少数民族 【中国の行事】 中国の春節 中国人の名前、 中国人の贈り物 【中国の文化】 中国の民族楽器 中国の映画鑑賞 日中文化の交流 【レポートを提出する】				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A: 評価試験(レポート)80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験(レポート)70%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C: 評価試験(レポート)40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D: 評価試験(レポート)40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

毎回授業時一つのテーマを絞って、日本文化と異なる中国文化を解釈します、DVDを鑑賞したり、楽しい授業ですよ。

シラバス(授業計画)

科目名	美育Ⅲ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース			授業形式	演習
実施期	2年 後期	単位数	後期：1 単位	時間数	後期：15 時間
担当	湊 さやか				
	実務経験： ☒ ・ 無	エアライン業界にて客室乗務員として7年間の実務経験あり。			
授業概要	客室乗務員には、心と身体の強さと美しさが求められます。この授業では、教室の枠にとらわれず様々な課題にチャレンジすることにより、感性豊かな心、好奇心、強い精神力、教養、体力、柔軟性など、みなさんの内面の「美」を育てます。駅伝では、チームのために自分のベストを尽くすことの素晴らしさを経験してください。また、CA 採用試験に合わせて、受験対策も随時行います。				
到達目標	①体力と精神力の向上 ②視野の広がりを感ずること ③CA 採用試験の準備を整える				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	【読書(感性)】 課題文章を読み、感じたことを文章に書く 【ヨガ(精神)】 ヨガの実践 ヨガによるストレス解消 【ランニング・フィットネスマシントレーニング(体力)】 駅伝出場に向けたトレーニング。持久力と忍耐力を養う 【CA 受験対策】 エントリーシートの作成および添削 面接練習				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)90%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 評価試験(理解度)70%以上、出席率 70%以上、平常点可 D: 評価試験(理解度)70%未満、出席率 70%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

エアポートサービスコース

専門科目

シラバス(授業計画)

科目名	English Communication Ⅲ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：30 時間 後期：30 時間
担当	Native teacher				
	実務経験：有・ ☐				
授業概要	Students will practise speaking, listening & reading skills on a broad range of topics.				
到達目標	The students will build on the English skills they gained in the first year, with the emphasis on communication skills.				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	Stretch 1 Speak Now Level 2 student Book with Online Practice (日本出版貿易)				
授業計画	【Cities, music & travel plans】 Question practice, invitations & suggestions, future plans 【Friends & family, restaurants and health】 Describing people's appearance & personality, describing restaurants and ordering food, health problems & advice. 【Jobs & free time】 Talking about jobs and ability, inviting & apologising. 【Travel, style & opinions】 Preferences, schedules, ideas & requests, giving opinions, agreeing & disagreeing				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験 70 点以上、出席率 80%以上、平常点 良 C: 評価試験 60 点以上、出席率 60%以上、平常点 可 D: 評価試験 60 点未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	TOEIC 対策Ⅲ/Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートサービスコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：3 単位 後期：3 単位	時間数	前期：45 時間 後期：45 時間
担当	岡野恵美子				
	実務経験：有・ ☐ 無				
授業概要	TOEIC のスコアをさらにアップさせるために、問題演習を通じて英語力の弱点を見つけ、その補強をします。中でも問題数の多いリスニングセクションの Part3 と Part4、リーディングセクションの Part7 の正答数を増やすための集中演習を行います。				
到達目標	1 年次 TOEIC スコアより 100 点アップ				
検定資格	なし・ ☒ 必修・任意 名称: TOEIC				
教科書 教材	TOEIC L&R テスト書き込みドリルスコア 650「全パート標準編」 桐原書店 TOEIC L&R 公式ボキャブラリーブック 国際ビジネスコミュニケーション協会				
授業計画	【リーディング Part5&6 対策】 テキスト及び各種問題集を使用した問題演習 頻出文法の定着と単語テストによる語彙力強化 【リーディング Part7 対策】 テキスト及び各種問題集を中心とした長文読解演習 【リスニング Part1&2 対策】 テキスト及び各種問題集を使用した写真問題と応答問題の演習 【リスニング Part3&4 対策】 テキスト及び各種問題集を使用した会話文と説明文の問題演習				
成績評価 方法	毎週のチェックテストに加え、TOEIC 受験直前には模擬試験を実施し、平常点に加点します。また学期末には評価試験を行い、出席率、TOEIC スコアと共に総合的に判断します。				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	TOEIC 対策Ⅲ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートサービスコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期 後期	単位数	前期 : 3 単位 後期 : 3 単位	時間数	前期 : 45 時間 後期 : 45 時間
担当	日隈 敬子				
	実務経験 : 有・ ☐				
授業概要	TOEIC には英語能力だけではなく、時間の使い方や技術が必要になってきます。 このクラスでは1年生で固めた文法やリスニング力を上手くいかせるよう、常に時間に意識しながら問題をこなして いきます。英語の語彙力向上と共に、TOEIC のスコアアップ、さらには本物の英語力を 身につける事を目指します。出来るだけ早く目標点に達成でいるよう頑張りましょう!				
到達目標	1 年次の最高スコア+100 点				
検定資格	なし・ ☒ 必修・任意 名称: TOEIC				
教科書 教材	TOEIC L&R テスト書き込みドリルスコア 650「全パート標準編」 桐原書店 新 TOEIC テスト書き込みドリル フレーズ言いまわし編 桐原書店				
授業計画	【TOEIC 頻出語句をチェック】 フレーズの教科書、問題文や選択肢に出てくる語句を繰り返し勉強することで、しっかり身に付ける。 【リスニング】 問題を解いた後にスクリプトを読みながら、語彙やフレーズをチェックし、声を出して読めるようにする。 【リーディング】 Part7 の長文に慣れるよう、時間を計りながら問題を解く。答え合わせの際に、しっかり読み込む。 【模試】 時間配分を意識しながら解く練習をする。 単語は授業内でゲームを通して確認する。				
成績評価 方法	評価試験は小テスト(30%)、期末テスト(70%)とする。				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

1 年生の時に身に付けた英語力を更に伸ばし、就職に必要なスコアを取り、自信をもって社会で活躍できるようにしましょう!

シラバス(授業計画)

科目名	外客接遇Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	湊 さやか 実務経験： ☒ ・ 無 エアライン業界にて客室乗務員として7年間の実務経験あり。				
授業概要	これからは、日本人、外国人に関係なく広く関わりを持って働く時代となります。外国人が日本および日本人に期待することは何でしょうか。そのニーズに応えるために必要な知識とマナーを習得します。日本人と外国人の価値観や習慣の違いを理解し、それぞれに相応しい「おもてなし」を考えます。				
到達目標	日本と外国との違いを学び、理解する。 グローバルな視点を身につける。				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	なし				
授業計画	【宗教について】 キリスト教 イスラム教 仏教 ヒンドゥー教 【国民性について】 アメリカ人の国民性 アメリカ人とイギリス人の違い イタリア人の生活習慣 ドイツ人と日本人 タイ人の国民性 【マナー】 西洋のマナー 【訪日外国人へのおもてなし】 接客ロールプレイ				
成績評価 方法	授業への参加意欲 期末試験				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率90%以上、平常点優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率80%以上、平常点良 C: 評価試験(理解度)60%以上、出席率60%以上、平常点可 D: 評価試験(理解度)60%未満、出席率60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	パソコンスキルⅠ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：15 時間 後期：15 時間
担当	愛澤 純子				
	実務経験： ☒ 有 ・ ☐ 無	パソコン講師として実務経験あり。			
授業概要	現代社会において、仕事上 PC 操作は必須です。1 年時の学習を踏まえて実践力を習得する。ワードではビジネス文書作成、エクセルでは基本関数およびグラフによるデータの視覚化とデータ分析力を修得する。また、パワーポイント操作ではプレゼンテーション資料の作成を修得する。				
到達目標	ワード・エクセルを含めたPC操作の基本を理解し、ビジネス文章の作成や、データからグラフ作成・データベース操作、パワーポイントを利用したプレゼンテーション資料が作成できるようにする。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ ☒ 任意 名称: 日本語ワープロ検定・マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)検定				
教科書 教材	なし(適宜プリントを使用します)				
授業計画	【PC基本操作の確認】 1 年時に学習したキーボードを利用しての入力練習(英数字・かな・漢字変換・文字の修正)、ワープロソフトを使い文章入力を復習する。 ホームポジションを意識した入力を実施する。 【ワード基本作業】 文章入力練習を行う。 ワードアート・図形描画を利用した表現力のある文書作成を行う。 ビジネス文書の基礎や仕組みを学び、手書き問題からビジネス文書を作成する。(表作成含む) 【パワーポイント基本作業】 操作方法を学習し、プレゼンテーション資料を作成する。(20分で1枚程度作成を目標とする。) 【エクセル基本作業】 データ入力の基本を学ぶ。 データ入力の基本を理解し、関数を利用した表計算機能やデータベース操作を学習する。 データを利用してグラフ作成を行い、視覚的分析力の方法を学ぶ。				
成績評価 方法	※平常点は、授業への参加度や授業態度などを加味して 20 点満点とし、上記評価点数に組み込まれる。 ※ワード、エクセル共に、文書作成を課題として提出する。				
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 80%以上、課題提出、平常点 15 点以上優 B: 評価試験 70 点以上、出席率 70%以上、課題提出、平常点 10 点以上良 C: 評価試験 50 点以上、出席率 60%以上、課題提出、平常点 5 点以上可 D: 評価試験 50 点未満、出席率 60%未満、課題未提出、平常点 5 点未満不可				

学生へのメッセージ

ワープロ、表計算、プレゼンソフトでは入力速度も必要となるので、日頃から入力練習をしておくことが望ましい。

シラバス(授業計画)

科目名	時事研究Ⅲ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：15 時間 後期：15 時間
担当	湊 さやか				
	実務経験：有・ ☐				
授業概要	日々のニュースに関心を持つことは、社会人として必須です。授業を通して新聞を読む習慣をつけると共に、そのニュースに対して自分の考えを持てるようにします。				
到達目標	①時事問題への理解を深める。 ②思考力を養う。 ③伝える力を磨く。				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	なし（新聞を使用）				
授業計画	【グループワーク】 文化、国際・外交、政治・経済、環境・災害、交通、教育、医療・福祉、といったテーマについて、 ①新聞記事を読む。 ②内容について、グループで話し合い、理解を深める。 ③意見を出し合う。 ④発表を行う。 後期はチームごとに担当で記事を選び、ディスカッションテーマを提示します。 選んだ記事はしっかりと読み込み、自分でも考えを持って臨んでください。				
成績評価 方法	授業への参加意欲 チームワーク 発表内容の成熟度				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験(理解度)60%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	エアカーゴ入門			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートサービスコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期	単位数	前期：1 単位	時間数	前期：15 時間
担当	桑原 和希				
	実務経験： ☒ ・ 無		物流関連企業にて実務経験あり。		
授業概要	国際航空貨物の発展と基礎的な輸送の流れを学び、日々目にする商品・製品がどのように自分たちの手元に届くのか。また、その輸送途上でどのような作業・業務が行われているかを学びます。				
到達目標	物流、国際輸送、航空貨物輸送の基礎知識を修得する。				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	講師作成の資料				
授業計画	【国際航空貨物概論】 ○航空貨物輸送発達の理由、航空貨物輸送の利点 ○航空輸送される貨物の種類、品目、貨物量など ○貿易における輸送手段(海上輸送と航空輸送に比較など) 【航空貨物取扱に関わる業種】 ○グランドハンドリング ○航空貨物取扱代理店(フォワーダー) 【航空貨物(輸送)の種類と流れ】 ○航空貨物輸送の流れ ○航空貨物輸送における貨物の包装(梱包)、ラベル貼付等 ○危険物取扱について				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80 点以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70 点以上、出席率 70%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40 点以上、出席率 60%以上、平常点 普通 D: 評価試験(理解度)40 点未満、出席率 60%未満、平常点 不良				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	中国語Ⅲ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：30 時間 後期：30 時間
担当	張翼飛				
	実務経験：有・無				
授業概要	この授業は1年の発音と基本文法を学習後の応用コースです、主に初歩的な表現とその応用を中心に行い、特に空港もしくは空港関連する職場で使う会話を取り入れたいです。				
到達目標	空港でよく使う中国語フレーズを会話できるように。				
検定資格	なし・必修・任意 名称:中国語検定試験				
教科書 教材	中国語初歩の初歩（高橋書店） 講師作成プリントに基づき学習します。				
授業計画	【中国語の概要】 ピンインと四声の復習 基本の挨拶と呼びかけ 出会いと別れの挨拶 【空港で使える中国語を学習】 チェックイン編 出国編 免税編 搭乗編 機内編 【空港で使える中国語の会話練習】 空港で搭乗口の場所を教える時に使う中国語 空港で荷物の重さ制限の説明する時に使う中国語 空港で危険物を尋ねる時に使う中国語 【テストと復習】 テストと復習				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

中国語を習得してから、日常生活楽しいこともひとつ増えますし、就職も役に立ちますし、自信もついて来ますし、ぜひ中国語授業を楽しんでください。

シラバス(授業計画)

科目名	韓国語 Ⅲ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：30時間 後期：30時間
担当	渡部 茂				
	実務経験：有・ ☐				
授業概要	教科書の各場面の例文をなぞり、語句を入れ替えながらシャドーイング法を取り入れることで、更なる実用的な会話の練習をする				
到達目標	一年次で学んできた韓国語の約束事を応用し、各場面・状況に即した例文を反復練習することで、自己のオリジナル表現と、より高度な複文の発話運用が出来るようになること				
検定資格	なし・必修・ ☐ 名称：ハングル検定（日本主催）、韓国語能力試験（韓国主催）				
教科書教材	「例文をなぞって覚える 場面別会話集」 渡部 茂 著				
授業計画	1. 基本的な会話 一日の挨拶、何を召し上がりますか、こちらどうぞ 等 2. 日常会話 「ITHB学校」はどこですか、ITHB学校で何を学んでいますか 等 3. 旅行・観光 機内にお忘れ物が無いように、お飲み物はいかがですか、酸素マスクの説明書もあります 等 4. ホテル滞在 部屋を予約したいのですが、少々お待ち頂けますか調べてみます、非常口はどちらに行けば 等 5. 飲食会話 この近くに美味しい食堂はありますか、友達二人が遅れて来ます、窓側の禁煙席をお願いします 等 6. 交通・乗り物 「ITHB学校」まで行って下さい、千葉駅はどこですか、友達と隣の席にして欲しい 等 7. ショッピング プレゼントを買いきたいのですが、サイズがもっと大きい物を見せて下さい、試着室はどこですか 等 8. 美容・エステ・整形 垢すりに行かない、キュウリパックをお願いします、明るい色に染めてみようかな 等 9. 看病・介護・病気 コロナ肺炎には気を付けなくてはね、病院で注射を打ってもらいました、どのくらいで良くなりますか 等 10. 感情表現 胸がいっぱいです、もう少し考えさせてくれる、私の話し最後まで聞いてよ、あれ 恥ずかしいな 等 11. 人生の出来事 結婚おめでとうございます、余りに感動して涙が出ました、ウェディングドレス姿がとても素敵です 等 12. スマホ・パソコン この場所電波が悪いな、ハングルの入力の仕方が分かりません、アドレス教えてくれる 等				
成績評価方法	出席の状況並びに積極的な授業参加の意欲・姿勢等 授業内実施の各単元整理の演習小テストの理解度				
成績評価基準	A：出席率 80%以上、評価試験(理解度)80%以上、平常点 A B：出席率 70%以上、評価試験(理解度)70%以上、平常点 B C：出席率 60%以上、評価試験(理解度)60%以上、平常点 C D：出席率 60%未満、受験不可				

学生へのメッセージ

外国語はただ読めるだけで終わらず、自分の言葉で自己主張が出来る発信がポイントである。
今後のグローバル化の進展の中で、コミュニケーション道具の一部と認識し、就職活動中や内定後であっても、ペースダウンすることなく、積極的に授業参加に努めて欲しい。労働力不足傾向の日本社会の将来を踏まえ、自己発信力として活用することで、自己存在の確立を高める姿勢が重要だ。

シラバス(授業計画)

科目名	航空機研究			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期	単位数	前期：1 単位	時間数	前期：15 時間
担当	逢坂 理恵				
	実務経験： ☒ ・ 無	航空貨物取扱企業にて職員教育担当の実務経験あり。現在も航空貨物取扱企業勤務。			
授業概要	航空業界で働くための基礎となる知識、特に航空機とその周囲で働くスタッフについて学びます。 また航空機の事故事例から“空の安全”について考え、将来の職場でも安全に対し意識をもって仕事ができるように、安全の重要性を学びます。				
到達目標	航空会社業務への理解を深める。 航空業界の責任について学ぶ				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	講師作成教材				
授業計画	【航空機の歴史と原理】 航空機や航空会社の成り立ち、航空機の種類と構造 航空機が離陸するためにかかる力と原理 【航空機の整備と機体構造】 整備業務と資格要件 機体の部位と機種ごとの違い 【航空機を囲む人々と作業】 航空機が出発するまでの流れと携わるスタッフ 航空機の周囲で使用される支援機材 【航空機の安全/全体復習】 バランスの重要性和航空機事故の紹介 まとめ				
成績評価 方法	学期末に行う評価試験、出席状況と授業参加意欲により評価される。 (評価試験は欠席の場合、0 点として取り扱う)				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)39%以下、出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

航空業界を目指す上で必要な知識が満載です。飛行機の仕組み、航空業界の仕事について学びながら、就職活動や就職後の仕事にも活かせる知識を学んでいきましょう。半年間、よろしくお願いいたします。

シラバス(授業計画)

科目名	エアライン受験対策Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期	単位数	前期：1 単位	時間数	前期：15 時間
担当	担当講師				
	実務経験： ☒ ・ 無	エアライン業界にて地上職及び客室乗務員として実務経験あり。			
授業概要	面接試験の本番に向けて、自覚と自信を強めるための講座です。 1 年次に学習し練習を重ねた内容を再確認しながら、面接の種類によってアプローチの方法を変え、業種や企業ごとに過去問題を使用して本番に備えていきます。フラッシュカードを使って質疑応答の際に必要な瞬発力を鍛え、受け答えの様子を撮った動画を見ながら、自分自身を客観的に分析し必要な部分を改善していきます。				
到達目標	○緊張している自分を客観視できるようになる。 ○本来の自分らしさを損なうことなく自己表現できるようになる。 ○自信を持って、自分らしく面接試験の本番に臨むための準備を整える。				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	適宜プリント配布				
授業計画	① 導入：一年次の復習及び進捗状況の確認 （自己分析・企業研究・ESに関する個々の進捗状況及び進路変更等） ② 模擬面接：面接の種類とそれぞれの目的・流れ・チェックポイント等の説明 （グループ・個人・グループディスカッション） 企業や業種ごとに分かれ、過去問を使って質疑応答練習 過去に出題されたテーマで、時間を計ってディスカッション練習 ③ 模擬面接：ペアワーク 進捗状況に近い者同士でペアを組み、フラッシュカードで瞬発力を鍛える 質疑応答の様子を互いに動画撮影し合い、改善点を探す 【適宜対応】個々の進捗状況や企業の募集時期に応じて、エントリーシートの添削・個人指導				
成績評価 方法	評価試験・自己PR/志望動機の進捗状況・出席状況・授業参加意欲(平常点)の総合評価で判断する				
成績評価 基準	A：評価試験 90%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 70%以上、出席率 70%以上、平常点 可 D：評価試験 70%未満、出席率 70%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

就職活動とは、他者との比較や競争ではなく、自分自身の過去・現在・未来とじっくり向かい合う地味な作業の事だと私は思います。納得できる就職をするために、一緒に頑張りましょう！

シラバス(授業計画)

科目名	空港旅客サービス実務Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートサービスコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期	単位数	前期：1 単位	時間数	前期：15 時間
担当	松本 多英美				
	実務経験： ☒ ・ 無	エアライン業界にてグランドスタッフとして 6 年間の実務経験あり。			
授業概要	1 年次に学習した内容をベースにし、さらに実践的な空港業務の内容を学習します。 特別なお客様の対応やイレギュラー時の対応など、通常時以外の対応についても学びます。 空港接客系企業の企業講演を授業内で行い、受験企業の選択や企業研究等、就職活動に活かします。				
到達目標	空港における様々な業務の知識をさらに広げ、目の前のお客様にどう対応するのか、具体的に実際の現場を想定し、自ら考え行動に移せる力を身に付けます。				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	【出入国書類について】 出入国に必要な書類について ビザ免除国について 【機内食】 特別機内食の種類 【特別旅客のハンドリング】 障がいをお持ちのお客様への理解と対応方法について 【イレギュラー時の対応】 システムダウン時のマニュアル対応について 【航空会社 PR ポスター作成】 グループワーク 【企業講演】				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上かつ出席率 80%以上、 平常点 優 B: 評価試験 70 点以上かつ出席率 70%以上、 平常点 良 C: 評価試験 50 点以上かつ出席率 60%以上、 平常点 可 D: 評価試験 50 点未満、 出席率 60%未満、 平常点 不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	危険物取扱講座Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：15 時間 後期：15 時間
担当	逢坂 理恵				
	実務経験： ☒ ・ 無	航空貨物取扱企業にて教育担当の実務経験あり。			
授業概要	航空機に搭載する手荷物や航空貨物には、危険物とされるものが規則で定められています。危険物は取り扱いを間違えると大事故に繋がってしまうため、航空業界で働くために身に付けておくべき知識の一つです。				
到達目標	・危険物の分類や危険性、ラベルを理解する・旅客手荷物に含まれる危険物を理解する ・航空機の搭載規則を理解する・危険物規則書の見方を理解する ・危険物申告書の作成、マーキング・ラベリングの規則を理解する・航空安全に対する意識を醸成する				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	講師作成教材				
授業計画	【危険物とは】【規則と適用方法】【IATA 規則第 1 章～第 2 章】 国連機関や規則の種類 規則の適用方法、例外規定 認可と適用免除、隠れた危険物 微量・少量危険物 【IATA 規則第 3 章】【IATA 規則第 7 章】【IATA 規則第 9 章】【全体復習】 分類区分のラベルや IMP コード、主な品目について ラベリング・マーキングの種類 受託、保管、搭載に関する規則 旅客手荷物に関する規則 全体のまとめ 【前期の復習】【IATA 規則第 4 章～6 章】 前期の復習 分類・IMP コード、危険性 受託・搭載についての規則 危険物リストの見方、引き方 容器の種類と包装基準、国連規格容器 【IATA 規則第 7 章～8 章】【全体復習】 ラベリング・マーキングの表示 危険物申告書の記載内容 全体のまとめ、問題演習				
成績評価 方法	学期末に行う評価試験、出席状況と授業参加意欲により評価される。 (評価試験は欠席の場合、0 点として取り扱う)				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

私たちの身の回りの物の中にも様々な種類の危険物があります。少し専門的な危険物の世界を学んでいきましょう。難しそうな内容もわかりやすく、面白いと感じる授業にしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

シラバス(授業計画)

科目名	異文化理解 I (韓国)			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期	単位数	前期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間
担当	渡部 茂				
	実務経験 : 有・ ☐				
授業概要	朝鮮戦争後の韓国の土台は、米国が作ったと言っても過言ではない。儒教精神と民主主義、この現代の葛藤を、時系列的にドキュメント映像記録を通してみていく。				
到達目標	スマホ情報過多の今日、所謂、「K-POP・韓国料理・化粧品」等の表象的な事象で、はたして日韓関係を改善出来るのか。各自の嗜好に囚らない冷静な情報分析能力を磨き、不測の事態に対して臨機応変に対応し、問題解決力と発見力、論理的かつ批判的思考力を、この授業を通して習得することにある				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	映像資料と授業内容に関連した講師オリジナルのプリントを適宜配布				
授業計画	【韓国とは】【人と言語と歴史】の考察 ・東アジアの朝鮮半島（米国と中国の大国間の緩衝地帯、右往左往する韓国の現状） ・韓国の歴史的な背景と今日の韓国（民主化よりも感情的優先性の優位並びに血族的優先性の横行） ・韓国の使用言語の解説（言語歴史が浅いハングルとは） ・ウリ(内) と ナム(外) 的な独特な思考法とは（自分には甘く他人には厳しく） 【韓国の国内外事情】の考察 ・日韓併合と後の日韓基本条約（条約にある個々人の賠償請求がいつまでも終わらない真の理由とは何か） ・李承晩ライン、竹島問題・徴用工・従軍慰安婦問題（永年の謝罪と賠償でさえも解決不可能な真の理由とは） ・韓国の宗教事情、儒教の家長中心の集団社会で個人的観念のキリスト教がなぜ普及したか（全体と個人） ・韓流ドラマ、K-POP等の人的資源での外貨の獲得事情とその自殺率の高さは（飽きられてしまうコンテンツ） ・コピー商品の横行と「不買運動」が途中頓挫するのはなぜか（ケンチャナヨ精神の可否） 【東アジアを見据えた近隣諸国の中の韓国の大義名分】の考察 ・韓国の財閥事情（財閥の形成と贈収賄事件の多発性と庶民に対する横暴性）やっかみと妬み ・韓国の大統領権限と国会の機能役割（国民の直接選挙と任期末期の逮捕劇の永遠な解消法はないのか） ・貿易立国と若者の失業率（上場企業の異常なまでの外資の高い資本率構成と国内の雇用形態） ・有史以来の対中国との関係は（主従関係の不可避的现代版、今でもなぜ主従関係に甘んじているのか） ・中国の「一帯一路」経済圏構想か日本側の環太平洋パートナーシップ協定かの帰属問題（揺れる国策） 【韓国をどう見る】【未来志向の日韓関係】の考察 ・儒教は宗教か（男尊女卑のテーマと上からの目線は今でも続く） ・日韓語学留学と姉妹校の促進（文化的交流のみで日韓の政治の流れは簡単に変えられるのか） ・在日不法滞留者（変わらない日本国内一位を保つ不法滞在者数） ・各回レポートの提出（返還しない）				
成績評価 方法	講義後の提出レポートの内容性（40/100）と、期末試験（60/100）と出席率（60%以上が前提）				
成績評価 基準	A: 出席率 80%以上、評価試験(理解度)80%以上、平常点 A B: 出席率 70%以上、評価試験(理解度)70%以上、平常点 B C: 出席率 60%以上、評価試験(理解度)60%以上、平常点 C D: 出席率 60%未満、期末試験受験不可				

学生へのメッセージ

「常識とは何か」、国や民族、宗教が変われば、当然視点も違うし考え方も変わる。今日、世界が内向き政治の傾向にある中で、パスポートの色違いを背景に、私情の判断をしがちである。授業内の資料ベースは恣意的なものではなく、あくまでも過去の事実と判断材料を提示するものであって、相手国を非難糾弾する内容のものではない。当該国を固定観念ではなく、柔軟な視点で捉えながら、日韓関係の良好な関係構築の契機にしてほしい。

シラバス(授業計画)

科目名	ワールドデスティネーションズⅢ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	エアラインキャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期 後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：30 時間 後期：30 時間
担当	担当講師 実務経験： ☒ 有 ・ 無 ☐ 無 旅行業界にて旅程管理実務経験あり。現在も添乗員として勤務。				
授業概要	みなさんが本校で学ぶ科目の多くは、世界地理の知識を必要とします。 本科目の目的は、2 年間で、①世界の主だった渡航先や輸出入が行なわれる国々について幅広く学び、 <u>基本的な知識</u> を身に着けること、②アマデウスやディプロマ等、他科目の学習の手助けとなること、③みなさんの興味を広げていただくこと、の 3 点です。 2 年次では、①主に日本人渡航者が多く訪れる箇所の特徴や魅力、気候、文化、特産品、②日本へ空輸される物品について、③時差、通貨、言語、文化風習について、理解を深めます。 なお、本科目は、 <u>世界遺産検定／海外地理検定／観光英検等の受検対策を目的とはしていません</u> 。 また、授業内容・順番は変更になる場合があります。				
到達目標	世界の主要な国、都市を地図上で直ちに指し示することができる。日本からの主だった渡航先について、文化や観光資源を理解することができる。日本への空輸品と国の特徴を結び付けて考えることができる。時差、通貨、言語				
検定資格	☐ なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	海外旅行地理ベーシック 400 (JTB 総合研究所) 旅に出たくなる地図世界 (帝国書院) プリント適宜配布				
授業計画	【アジア各論】 韓国／中国本土／台湾／香港／ベトナム／カンボジア／タイ／マレーシア／シンガポール／インドネシア／フィリピン／インド 【オセアニア各論】 オーストラリア／ハワイ／グアム・サイパン 【北米各論】 アメリカ合衆国／カナダ 【中南米各論】 メキシコ／ブラジル／ペルー／チリ／アルゼンチン 【ヨーロッパ各論】 英国／フランス／スペイン／オーストリア／スイス／ドイツ／イタリア／EU とシェンゲンについて 【中東・アフリカ各論】 トルコ／エジプト／南アフリカ共和国／中東エリア 【後期期末試験と解説】 期末試験／解説 各期 2 時間ずつ				
成績評価 方法	評価試験、出席率、授業態度、意欲				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、かつ出席率 80%以上、かつ平常点 優 B: 評価試験(理解度)60%以上、または出席率 70%以上、または平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、または出席率 60%以上、または平常点 可 D: 評価試験(理解度)40%未満、または出席率 60%未満、または 平常点 不可				

学生へのメッセージ

“デスティネーションズ Destinations”とは、「旅行などの目的地」という意味です。航空会社や空港、貨物等、国際的なものに関わって活躍しようとする皆さんにとって、世界の地勢や国々に関する基本的な情報は必須です。
 机の上で一緒に旅をしながら、世界への知識を深めましょう。
 1 年次同様、みなさんの意欲的な授業の参加を、期待します。

シラバス(授業計画)

科目名	接客手話Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：15 時間 後期：15 時間
担当	担当講師				
	実務経験： ☒ 有 ・ ☐ 無	江戸川区登録手話通訳者			
授業概要	ユニバーサルサービスとして接客における手話を身に着ける。前期は 5 級の単語学習中心におこない、後期は 4 級単語学習を行う。聴覚障がいをお持ちのお客様に対して手話でのコミュニケーションがとれるようにする。				
到達目標	1 年次においては手話検定 4 級レベルを目指す。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ ☒ 任意 名称: 手話技能検定 4 級				
教科書 教材	手話技能検定公式テキスト 3・4 級（日本能率協会マネジメントセンター）				
授業計画	【日常生活に必要な基本を学習Ⅰ】 あいさつ・天候・疑問・数字・日にち・時間・家族・色・方角・感情・動作・自然・仕事などを学習する。 【日常生活に必要な基本を学習Ⅱ】 食べ物・動物・スポーツ・趣味・乗り物・形容詞・副詞・施設・地名・接客手話などを学習する。 【日常生活に必要な基本を学習Ⅲ】 ホテルで使う手話や検定対策に向けて過去問題の学習を行う。 【聴覚障害概要の学習】 手話とは・聴覚障害者とは・耳の構造・聴覚障害の種類・聴覚障害者数・聞こえのレベル・身体障害者等級・聴覚障害者のコミュニケーション方法・合理的配慮・手話言語条例・強味と弱味・ろう文化など				
成績評価 方法	授業内におこなう実技試験と期末試験、出席率、授業態度を総合的に評価します。				
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 80% 以上、平常点優 B: 評価試験 70 点以上、出席率 70% 以上、平常点良 C: 評価試験 50 点以上、出席率 60% 以上、平常点可 D: 評価試験 50 点未満、出席率 60% 未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	Airline English II・Ⅲ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期 後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：15 時間 後期：15 時間
担当	語学担当講師				
	実務経験：有・ ☐				
授業概要	航空業界で働く際に遭遇する場面での「仕事で使えるフレーズ」を覚えることを目的とします。 2 年次の前期はセキュリティ、免税店、搭乗ゲート、そして後期は機内での会話やアナウンスを習得します。シンプルなキーセンテンスを応用して使えるように、会話、リスニング、アクティビティを通して反復練習をしていきます。				
到達目標	テキスト Airline English II とⅢの Conversation を暗記し、空港スタッフやキャビンアテンダントのパートを、テキストを見ないで会話することが出来る。				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	オリジナルテキスト				
授業計画	【保安検査場で使う英語】 ・液体物の持ち込み ・セキュリティチェック ・手荷物検査 【免税店で使う英語】 ・アルコール飲料の購入 ・乗継便の案内 ・お支払いについて 【搭乗ゲートで使う英語】 ・お客様の呼び出し ・搭乗開始アナウンス 【復習/会話テスト】 ・復習 ・1 人ずつ会話テストを実施 【機内で使う英語】 ・安全のご案内 ・機内アメニティ ・機内食のサービス ・お飲物のサービス ・機内免税品の販売 ・緊急時の対応 【復習/会話テスト】 ・復習 ・1 人ずつ会話テストを実施				
成績評価 方法	評価試験は会話テストを実施し、出席率・授業態度と総合して評価します。				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 評価試験(理解度)50%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験(理解度)50%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	国内観光地理Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	松川 信也 実務経験： ☒ 有 ・ 無 元添乗員、旅行コンサル会社経営。総合旅行業務取扱管理者。				
授業概要	空港での業務でも、日本国内のさまざまな地方から来た旅客と出会う。また日本人として観光の専門学校を卒業する以上、知っておいてほしい国内の観光地理の知識がある。当授業では、できるだけ視覚に訴える方式(DVDやパワーポイント使用)で知識定着を図る。前半で基礎的な日本の観光地を学習し、後半では応用地理としての「国内旅行を楽しむ」トピックスを学習する。				
到達目標	①日本の有名観光資源について、基本的情報を説明できる。 ②応用地理としての「国内旅行を楽しむ3テーマ」(駅弁・日本神話のふるさと・日本のパワースポット)を理解し、旅行を楽しむ手段を説明できる。				
検定資格	☐ なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	なし(配付プリント対応)				
授業計画	I.【2022 国内旅行の動向把握】 現在のコロナ騒ぎの終結を視野に、講師が独自の観点で分析した 2022 年の国内旅行の動向を数点プレゼンテーションする。空港で出会うお客様とのコミュニケーション、あるいは自身が旅行する際の基礎知識を身につける。 II.【日本の美しい風景】 基本中の基本となる国内の 47 都道府県と県庁所在地を把握した後、パワーポイントやDVDを利用し、日本国内の主要観光地情報を把握する。 III.【日本の世界遺産】 ここ数年毎年のように新規「世界遺産」が日本に誕生し、観光振興に一役買っている。国内に存在する「世界遺産」23 か所をまとめて学習する。パワーポイント画像使用。 IV.【応用地理:国内旅行を楽しむ】 国内旅行を楽しむ手段としての3つの切り口(①駅弁②日本神話のふるさと③日本のパワースポット)から観光情報を講義する。				
成績評価 方法	前期、後期とも各パートごと終了時に小テスト(平常点としてカウント)、期末に評価試験を実施する。欠席は0点扱いとなるので注意。各期とも、評価試験、出席率、平常点の総合評価とする。				
成績評価 基準	A:評価試験 80 点以上、かつ 出席率 80%以上、かつ 平常点優 B:評価試験 60 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点良以上 C:評価試験 40 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点可以上 D:評価試験 40 点未満、または 出席率 60%未満、または 平常点不可				

学生へのメッセージ

週に1回、空港の専門科目から離れて、折角観光の専門学校に来た皆さんに国内旅行の楽しさを学んでいただきます。ぜひ皆さんにも、日本人として国内旅行の楽しさを体得してください。

シラバス(授業計画)

科目名	電話応対ベーシックⅠ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	岸田輝美				
	実務経験： ☒ ・ ☐ 無	電話応対・マナー講師実務経験あり。現在は、マナー会社取締役。			
授業概要	あらゆるビジネスシーンに必要な「電話応対」には、正しい日本語の使い方・基本的なビジネスマナー・様々な状況に臨機応変に対応することができるコミュニケーション能力が求められます。本授業では、実践ですぐに役に立つ、社会人として最低限に必要なスキルを身に付けていく「電話総合ビジネスマナー」を学んでいきます。				
到達目標	実践ですぐに役に立つ電話応対を学ぶ。信頼関係を築くためのコミュニケーションスキルを習得します。訓練用模擬電話機「てるコーチX」でトレーニングをして即戦力を目指す。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ ☒ 任意 名称: 電話応対技能検定4級				
教科書 教材	ビジネスマナーテキストブック(ビューティフルマナー株式会社出版) 前向きな言葉の作り方実践ワークブック(一般社団法人日本ベップトーク普及協会)				
授業計画	【総合ビジネスマナーの概要】 社会人として必要なマナー(人を思いやる心)を「武士道」から理解する。 人間関係を支える基本マナーは「愛」を学ぶ 【日本語の特徴】 敬語の由来、慣用句等に触れ美しい日本語の表現を学ぶ 敬語の5つの基本形を学ぶ おもてなしの表現を研究する(ステップアップ) 【電話応対のマナー】 「正確・簡潔・丁寧・迅速」、電話応対の注意点や電話のかけ方、受け方、取り次ぎ方、常套句等、 実技トレーニングをしていく 【いろいろな場面での電話応対】 電話の第一印象であるオープニングの解説と実技トレーニング 電話の向こうの「あなた」に爽やかな余韻を残しての終話(クロージング)の解説と実技トレーニング 【前向きな言葉を意識する】 ポジティブな言葉を使うことで自分を周りを前向きな気持ちにしていきます				
成績評価 方法	学期末には評価試験を行う。 評価試験を欠席した場合は、0点として取り扱う。出席状況、授業参加意欲も評価される				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率80%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率70%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

社会に出たら会社の代表として電話に出ます。あなたの応対が心地よいからこの会社をお願いしたいと言われるようにファンづくりに繋がっていきましょう。電話というツールを活かして対人とのコミュニケーションスキルを学びましょう

シラバス(授業計画)

科目名	空港あれこれ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	2年 後期	単位数	後期：1単位	時間数	後期：15時間
担当	松川 信也				
	実務経験：有・ ☐ 無				
授業概要	1年次より蓄積してきた航空業界についての専門知識を、また別の観点から補完、拡充する。国内に目を向ければ、「新幹線」VS「航空」の構造、また利用者の観点から航空利用にあたっての知っていると便利な知識を、数点学習する。				
到達目標	①日本の国内旅客運送に関し、「新幹線VS航空」の経緯や構造を説明できる。 ②航空業界の各種最新トピックス、新しい空港名、LCC動向、等について説明できる。				
検定資格	☐ なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	【成田と羽田 最新事情】 日々進化している成田、羽田の最新事情。AIによる空港サービスも導入されつつある。利用者から見た東京の2大空港の現状を研究する。 【国内航空～永遠のライバル新幹線】 国内の旅客運送において、永遠のライバル関係と言える「航空」VS「新幹線」。その歴史と意義を把握し、今後の国内旅客運送の動向を推測する。 【国内・海外の「空港名」～そのお国柄】 日本国内も、海外でも、突然空港名が変更になったりする。その地域に貢献した人物名をつけたり、地域の観光資源の名称をつける空港もある。それらの主なものを把握して、その地域(国)の特性を把握する。 【LCCの最新動向把握】 まだまだフルサービスキャリアが主体の日本のエアラインだが、海外ではLCCがすでに主体の地域もあり、日本でもジワジワと増えている。その最新状況を把握する。				
成績評価 方法	小テストを各パート終了時に実施し平常点扱いとし(欠席の場合は0点となるので注意)、期末試験を評価試験として実施する。平常点、出席率、評価試験合計点の総合評価。				
成績評価 基準	A:評価試験 80 点以上、かつ 出席率 80%以上、かつ 平常点優 B:評価試験 60 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点良以上 C:評価試験 40 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点可以上 D:評価試験 40 点未満、または 出席率 60%未満、または 平常点不可				

学生へのメッセージ

元旅行の添乗員の講師が、あくまで利用者の立場で空港のさまざまなトピックスを解説します。空港についての見聞を広げて、実務に役立ててください。

シラバス(授業計画)

科目名	リスクマネジメント			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	2 年 後期	単位数	後期：1 単位	時間数	後期：15 時間
担当	湊 さやか				
	実務経験： ☒ ・ 無	エアライン業界にて客室乗務員として7 年間の実務経験あり。			
授業概要	①いざという時、周りにいる人がすぐに手当てを行えば、救命の可能性は高くなります。この講義では、空港や機内などでのとっさの手当や予防に役立つ知識を学び、「赤十字ベーシックライフサポーター」の資格を取得します。 ②東京臨海防災公園で、防災への関心を高め、実際に災害に対応できる知識や技術を習得します。				
到達目標	①人工呼吸の方法、AED の使用法を習得し、いざという時に躊躇なく実践できるようにする。 ②災害時に何が起きるのか、どう行動すれば良いのか、を理解する。				
検定資格	なし ・ ☒ 必修 ・ 任意 名称: 赤十字救命法基礎講習「赤十字ベーシックライフサポーター」				
教科書 教材	①赤十字救急法基礎講習での配布テキスト ②なし				
授業計画	【赤十字救急法基礎講習】 手当の基本 人工呼吸・胸骨圧迫の方法 AED(自動体外式除細動器)の使用法 気道異物除去の方法 【東京臨海防災公園での防災体験】 東京直下 72h TOUR 体験 津波体験				
成績評価 方法	評価試験については、期末に試験を実施。その他の項目については、下記成績評価基準に順じ評価を行います。				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験(理解度)60%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	異文化理解Ⅱ(中国)			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	2年 後期	単位数	後期：1単位	時間数	後期：15時間
担当	張翼飛				
	実務経験：有・ ☐ 無				
授業概要	前期中国語の基本発音、文法及び基本会話を習得しました、後期視聴覚資料を使って、中国や中国の文化、行事、料理、生活習慣、中国人の性格などを紹介します。				
到達目標	中国事情を理解し、教養を身につけ、来日中国のお客様に円滑に対応できるように。				
検定資格	☐ なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	講師作成プリントに基づきを学習します。				
授業計画	【中国概要】 中国の地図、 中国の歴史と近代歴史 中国の漢族と少数民族 【中国の行事】 中国の春節 中国人の名前、 中国人の贈り物 【中国の文化】 中国の民族楽器 中国の映画鑑賞 日中文化の交流 【レポートを提出する】				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A: 評価試験(レポート)80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験(レポート)70%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C: 評価試験(レポート)40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D: 評価試験(レポート)40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

毎回授業時一つのテーマを絞って、日本文化と異なる中国文化を解釈します、DVDを鑑賞したり、楽しい授業ですよ。

エアポートカーゴコース

専門科目

シラバス(授業計画)

科目名	グラハンエクササイズⅢ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：2 単位 後期：2 単位	時間数	前期：30 時間 後期：30 時間
担当	北原 大輔				
	実務経験： ☒ ・ 無	スポーツインストラクターとして実務経験あり。			
授業概要	健康維持増進のために日頃から身体を動かしておくことは必要不可欠なことであり、また、身体運動量が比較的高い職業においては、高い体力レベルを保持しておくことが望ましいと言えます。 基本的な運動を通じて精神力と敏捷性、持久性、平衡性など、はつらつとした身体をつくります。また、球技スポーツの体験を通して、健康および体力の向上を図るとともに、運動習慣を体得し、生涯に渡り運動・スポーツを実践できるようになることを目指します。加えて、コミュニケーション能力とリスペクトの精神を養うことで、社会人として必要とされる他者と協働する力を鍛えます。				
到達目標	健康づくりのための身体活動基準以上の運動・スポーツの実践 体力向上のための定期的なトレーニングの実践(自己目標の設定)				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書教材	なし、必要によりプリント用意				
授業計画	【健康と体力/筋トレⅠ/「投げる」球技スポーツ/ウォーキング/】 「健康」、体力、「健康と体力の関係」について学ぶ 筋トレ、器具の使い方や効果について バスケットボールなど(競技特性・ルールの理解と実践) ウォーキングの正しいやり方と効用 【ストレッチング/持久カトレーニング】 ストレッチングの意義と実践 持久カトレーニングの意義と実践(持続性トレーニング) 【筋トレⅡ/「蹴る」球技スポーツ/運動と安全/体力の測定と評価】 前期より負荷を挙げて筋力アップを図る サッカー・フットサル(競技特性・ルールの理解と実践) 傷害の理解と予防 形態計測、筋力測定、運動能力テストの実施と評価				
成績評価方法	※平常点は、授業への参加度や授業態度などを加味して 20 点満点とし、 上記評価点数に組み込まれる。				
成績評価基準	A: 授業内期末試験 70 点以上、出席率 90%以上、平常点 15 点以上 優 B: 授業内期末試験 50 点以上、出席率 60%以上、平常点 10 点以上 良 C: 授業内期末試験 30 点以上、出席率 60%以上、平常点 5 点以上 可 D: 授業内期末試験 30 点未満、出席率 60%未満、平常点 5 点未満 不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	TOEIC 対策Ⅲ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：2 単位 後期：2 単位	時間数	前期：30 時間 後期：30 時間
担当	日隈 敬子				
	実務経験：有・ ☐				
授業概要	TOEIC には英語能力だけではなく、時間の使い方や技術が必要になってきます。 このクラスでは1年生で固めた文法やリスニング力を上手くいかせるよう、常に時間に意識しながら問題をこなして いきます。英語の語彙力向上と共に、TOEIC のスコアアップ、さらには本物の英語力を 身につける事を目指します。出来るだけ早く目標点に達成でいるよう頑張りましょう!				
到達目標	1 年次の最高スコアの更新				
検定資格	なし・ ☒ 必修・任意 名称: TOEIC				
教科書 教材	TOEIC L&R テスト書き込みドリルスコア 650「全パート標準編」 桐原書店 新 TOEIC テスト書き込みドリル フレーズ言いまわし編 桐原書店				
授業計画	【TOEIC 頻出語句をチェック】 フレーズの教科書、問題文や選択肢に出てくる語句を繰り返し勉強することで、しっかり身に付ける。 【リスニング】 問題を解いた後にスクリプトを読みながら、語彙やフレーズをチェックし、声を出し手読めるようにする。 【リーディング】 Part7 の長文に慣れるよう、時間を計りながら問題を解く。答え合わせの際に、しっかり読み込む。 【模試】 時間配分を意識しながら解く練習をする。 単語は授業内でゲームを通して確認する。				
成績評価 方法	評価試験は小テスト(30%)、期末テスト(70%)とする。				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

1 年生の時に身に付けた英語力を更に伸ばし、就職に必要なスコアを取り、自信をもって社会で活躍できるようにしましょう!

シラバス(授業計画)

科目名	エアカーゴ実務Ⅱ（フォワーダー）			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期	単位数	前期：2 単位	時間数	前期：30 時間
担当	桑原 和希				
	実務経験： ☒ ・ 無		物流関連企業にて実務経験あり。		
授業概要	1 年次は主にカーゴハンドリング(貨物取扱・空港内の現場作業)及び税関、航空貨物に係る基礎知識を学習しましたが、2 年次は、国際航空貨物を取り扱う中心的な存在である「航空貨物代理店(フォワーダー)」における必要不可欠な業務知識を学びます。				
到達目標	「航空貨物代理店(フォワーダー)」に関する知識を習得				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	講師作成の資料				
授業計画	【国際航空貨物代理店の仕事】 ○輸出航空貨物の基本的な流れ、各部門の役割り （貨物引取りから通関・混載仕立て、航空会社引渡しまでの業務） ○輸入航空貨物の基本的な流れ、各部門の役割り （貨物到着から混載仕分け・通関、配達までの業務） ○国際航空貨物代理店のIT(情報技術) ○損害賠償(運送約款、クレーム処理等) ○倉庫における荷扱い、各種ISO規格(品質、情報他) 【通関業務】 ○NACCS(通関情報処理システム)、その他システム ○日本の貿易管理制度(各種法令等) ○輸出入申告業務、統計・関税品目仕分け ○新しい物流の概要(サプライチェーンマネジメント等)				
成績評価 方法	評価試験については、期末に試験を実施。 その他の項目については、下記成績評価基準に順じ評価を行います)				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率 60%以上、平常点 普通 D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率 60%未満、平常点 不良				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	パソコンスキルⅠ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：15 時間 後期：15 時間
担当	愛澤 純子				
	実務経験： ☒ 有 ・ ☐ 無	パソコン講師として実務経験あり。			
授業概要	現代社会において、仕事上 PC 操作は必須です。1 年時の学習を踏まえて実践力を習得する。ワードではビジネス文書作成、エクセルでは基本関数およびグラフによるデータの視覚化とデータ分析力を修得する。また、パワーポイント操作ではプレゼンテーション資料の作成を修得する。				
到達目標	ワード・エクセルを含めたPC操作の基本を理解し、ビジネス文章の作成や、データからグラフ作成・データベース操作、パワーポイントを利用したプレゼンテーション資料が作成できるようにする。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ ☒ 任意 名称: 日本語ワープロ検定・マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)検定				
教科書 教材	なし(適宜プリントを使用します)				
授業計画	【PC基本操作の確認】 1 年時に学習したキーボードを利用しての入力練習(英数字・かな・漢字変換・文字の修正)、ワープロソフトを使い文章入力を復習する。 ホームポジションを意識した入力を実施する。 【ワード基本作業】 文章入力練習を行う。 ワードアート・図形描画を利用した表現力のある文書作成を行う。 ビジネス文書の基礎や仕組みを学び、手書き問題からビジネス文書を作成する。(表作成含む) 【パワーポイント基本作業】 操作方法を学習し、プレゼンテーション資料を作成する。(20分で1枚程度作成を目標とする。) 【エクセル基本作業】 データ入力の基本を学ぶ。 データ入力の基本を理解し、関数を利用した表計算機能やデータベース操作を学習する。 データを利用してグラフ作成を行い、視覚的分析力の方法を学ぶ。				
成績評価 方法	※平常点は、授業への参加度や授業態度などを加味して 20 点満点とし、上記評価点数に組み込まれる。 ※ワード、エクセル共に、文書作成を課題として提出する。				
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 80%以上、課題提出、平常点 15 点以上優 B: 評価試験 70 点以上、出席率 70%以上、課題提出、平常点 10 点以上良 C: 評価試験 50 点以上、出席率 60%以上、課題提出、平常点 5 点以上可 D: 評価試験 50 点未満、出席率 60%未満、課題未提出、平常点 5 点未満不可				

学生へのメッセージ

ワープロ、表計算、プレゼンソフトでは入力速度も必要となるので、日頃から入力練習をしておくことが望ましい。

シラバス(授業計画)

科目名	時事研究Ⅲ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：15 時間 後期：15 時間
担当	湊 さやか				
	実務経験：有・ ☐				
授業概要	日々のニュースに関心を持つことは、社会人として必須です。授業を通して新聞を読む習慣をつけると共に、そのニュースに対して自分の考えを持てるようにします。				
到達目標	①時事問題への理解を深める。 ②思考力を養う。 ③伝える力を磨く。				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	なし（新聞を使用）				
授業計画	【グループワーク】 文化、国際・外交、政治・経済、環境・災害、交通、教育、医療・福祉、といったテーマについて、 ①新聞記事を読む。 ②内容について、グループで話し合い、理解を深める。 ③意見を出し合う。 ④発表を行う。 後期はチームごとに担当で記事を選び、ディスカッションテーマを提示します。 選んだ記事はしっかりと読み込み、自分でも考えを持って臨んでください。				
成績評価 方法	授業への参加意欲 チームワーク 発表内容の成熟度				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験(理解度)60%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	空港旅客サービス入門(旅客の流れ)			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期	単位数	前期：1 単位	時間数	前期：15 時間
担当	湊 さやか				
	実務経験： ☒ ・ 無	エアライン業界にて客室乗務員として7年間の実務経験あり。			
授業概要	今まで学習してきたエアカーゴの流れの裏で、旅客はどのような動きをしているのでしょうか。この授業では、空港での「人」の流れと、それに関わる航空業界の知識を習得します。				
到達目標	①学習内容を全て理解し、習得する。 ②コードや用語についてはしっかりと覚え、定着させる。				
検定資格	☒ ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	なし(プリント配布)				
授業計画	【出入国(CIQ)】 出国手続きの流れ / 受託手荷物・機内持ち込み制限 入国手続きの流れ / 免税範囲・課税計算 【2 レターコード/3 レターコード】 成田空港就航航空会社の 2 レターコードについて 日本および世界の主要都市空港 3 レターコードについて 【アライアンス/マイレージ】 アライアンスの目的、メリットについて マイレージの目的、メリットについて 【VISA/乗り継ぎ/Baggage/国と通貨】 VISAの種類 乗り継ぎにおける出入国審査と税関 機内持ち込み/受託手荷物の各制限と超過料金について 各国通貨と換算法 【期末テスト】				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 評価試験(理解度)50%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験(理解度)50%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	中国語Ⅲ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：30 時間 後期：30 時間
担当	張翼飛				
	実務経験：有・ ☐				
授業概要	この授業は1年の発音と基本文法を学習後の応用コースです、主に初歩的な表現とその応用を中心に行い、特に空港もしくは空港関連する職場で使う会話を取り入れたいです。				
到達目標	空港でよく使う中国語フレーズを会話できるように。				
検定資格	なし・必修・ ☐ 名称:中国語検定試験				
教科書 教材	中国語初歩の初歩（高橋書店） 講師作成プリントに基づき学習します。				
授業計画	【中国語の概要】 ピンインと四声の復習 基本の挨拶と呼びかけ 出会いと別れの挨拶 【空港で使える中国語を学習】 チェックイン編 出国編 免税編 搭乗編 機内編 【空港で使える中国語の会話練習】 空港で搭乗口の場所を教える時に使う中国語 空港で荷物の重さ制限の説明する時に使う中国語 空港で危険物を尋ねる時に使う中国語 【テストと復習】 テストと復習				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

中国語を習得してから、日常生活楽しいこともひとつ増えますし、就職も役に立ちますし、自信もついて来ますし、ぜひ中国語授業を楽しんでください。

シラバス(授業計画)

科目名	韓国語 Ⅲ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：30 時間 後期：30 時間
担当	渡部 茂				
	実務経験：有・ ☐				
授業概要	教科書の各場面の例文をなぞり、語句を入れ替えながらシャドーイング法を取り入れることで、更なる実用的な会話の練習をする				
到達目標	一年次で学んできた韓国語の約束事を応用し、各場面・状況に即した例文を反復練習することで、自己のオリジナル表現と、より高度な複文の発話運用が出来るようになること				
検定資格	なし・必修・ ☐ 名称：ハングル検定（日本主催）、韓国語能力試験（韓国主催）				
教科書教材	「例文をなぞって覚える 場面別会話集」 渡部 茂 著				
授業計画	1. 基本的な会話 一日の挨拶、何を召し上がりますか、こちらどうぞ 等 2. 日常会話 「ITHB学校」はどこですか、ITHB学校で何を学んでいますか 等 3. 旅行・観光 機内にお忘れ物が無いように、お飲み物はいかがですか、酸素マスクの説明書もあります 等 4. ホテル滞在 部屋を予約したいのですが、少々お待ち頂けますか調べてみます、非常口はどちらに行けば 等 5. 飲食会話 この近くに美味しい食堂はありますか、友達二人が遅れて来ます、窓側の禁煙席をお願いします 等 6. 交通・乗り物 「ITHB学校」まで行って下さい、千葉駅はどこですか、友達と隣の席にして欲しい 等 7. ショッピング プレゼントを買いきたいのですが、サイズがもっと大きい物を見せて下さい、試着室はどこですか 等 8. 美容・エステ・整形 垢すりに行かない、キュウリパックをお願いします、明るい色に染めてみようかな 等 9. 看病・介護・病気 コロナ肺炎には気を付けなくてはね、病院で注射を打ってもらいました、どのくらいで良くなりますか 等 10. 感情表現 胸がいっぱいです、もう少し考えさせてくれる、私の話し最後まで聞いてよ、あれ 恥ずかしいな 等 11. 人生の出来事 結婚おめでとうございます、余りに感動して涙が出ました、ウェディングドレス姿がとても素敵です 等 12. スマホ・パソコン この場所電波が悪いな、ハングルの入力の仕方が分かりません、アドレス教えてくれる 等				
成績評価方法	出席の状況並びに積極的な授業参加の意欲・姿勢等 授業内実施の各単元整理の演習小テストの理解度				
成績評価基準	A: 出席率 80%以上、評価試験(理解度)80%以上、平常点 A B: 出席率 70%以上、評価試験(理解度)70%以上、平常点 B C: 出席率 60%以上、評価試験(理解度)60%以上、平常点 C D: 出席率 60%未満、受験不可				

学生へのメッセージ

外国語はただ読めるだけで終わらせず、自分の言葉で自己主張が出来る発信がポイントである。
今後のグローバル化の進展の中で、コミュニケーション道具の一部と認識し、就職活動中や内定後であっても、ペースダウンすることなく、積極的に授業参加に努めて欲しい。労働力不足傾向の日本社会の将来を踏まえ、自己発信力として活用することで、自己存在の確立を高める姿勢が重要だ。

シラバス(授業計画)

科目名	航空機研究			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期	単位数	前期：1 単位	時間数	前期：15 時間
担当	逢坂 理恵				
	実務経験： ☒ ・ 無	航空貨物取扱企業にて職員教育担当の実務経験あり。現在も航空貨物取扱企業勤務。			
授業概要	航空業界で働くための基礎となる知識、特に航空機とその周囲で働くスタッフについて学びます。 また航空機の事故事例から“空の安全”について考え、将来の職場でも安全に対し意識をもって仕事ができるように、安全の重要性を学びます。				
到達目標	航空会社業務への理解を深める。 航空業界の責任について学ぶ				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	講師作成教材				
授業計画	【航空機の歴史と原理】 航空機や航空会社の成り立ち、航空機の種類と構造 航空機が離陸するためにかかる力と原理 【航空機の整備と機体構造】 整備業務と資格要件 機体の部位と機種ごとの違い 【航空機を囲む人々と作業】 航空機が出発するまでの流れと携わるスタッフ 航空機の周囲で使用される支援機材 【航空機の安全/全体復習】 バランスの重要性和航空機事故の紹介 まとめ				
成績評価 方法	学期末に行う評価試験、出席状況と授業参加意欲により評価される。 (評価試験は欠席の場合、0 点として取り扱う)				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)39%以下、出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

航空業界を目指す上で必要な知識が満載です。飛行機の仕組み、航空業界の仕事について学びながら、就職活動や就職後の仕事にも活かせる知識を学んでいきましょう。半年間、よろしくお願いいたします。

シラバス(授業計画)

科目名	危険物取扱講座Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：15 時間 後期：15 時間
担当	逢坂 理恵				
	実務経験： ☒ ・ 無	航空貨物取扱企業にて教育担当の実務経験あり。			
授業概要	航空機に搭載する手荷物や航空貨物には、危険物とされるものが規則で定められています。危険物は取り扱いを間違えると大事故に繋がってしまうため、航空業界で働くために身に付けておくべき知識の一つです。				
到達目標	・危険物の分類や危険性、ラベルを理解する・旅客手荷物に含まれる危険物を理解する ・航空機の搭載規則を理解する・危険物規則書の見方を理解する ・危険物申告書の作成、マーキング・ラベリングの規則を理解する・航空安全に対する意識を醸成する				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	講師作成教材				
授業計画	【危険物とは】【規則と適用方法】【IATA 規則第 1 章～第 2 章】 国連機関や規則の種類 規則の適用方法、例外規定 認可と適用免除、隠れた危険物 微量・少量危険物 【IATA 規則第 3 章】【IATA 規則第 7 章】【IATA 規則第 9 章】【全体復習】 分類区分のラベルや IMP コード、主な品目について ラベリング・マーキングの種類 受託、保管、搭載に関する規則 旅客手荷物に関する規則 全体のまとめ 【前期の復習】【IATA 規則第 4 章～6 章】 前期の復習 分類・IMP コード、危険性 受託・搭載についての規則 危険物リストの見方、引き方 容器の種類と包装基準、国連規格容器 【IATA 規則第 7 章～8 章】【全体復習】 ラベリング・マーキングの表示 危険物申告書の記載内容 全体のまとめ、問題演習				
成績評価 方法	学期末に行う評価試験、出席状況と授業参加意欲により評価される。 (評価試験は欠席の場合、0 点として取り扱う)				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

私たちの身の回りの物の中にも様々な種類の危険物があります。少し専門的な危険物の世界を学んでいきましょう。難しそうな内容もわかりやすく、面白いと感じる授業にしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

シラバス(授業計画)

科目名	貿易実務検定C級対策			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期	単位数	前期：1 単位	時間数	前期：15 時間
担当	桑原 和希				
	実務経験： ☒ ・ 無	物流関連企業にて実務経験あり。			
授業概要	貿易の進展が世界的な広がりを示している中、「貿易立国」と言われる我が国においても、貿易実務知識は重要なものです。特に貿易と深い関係があるフォワーダー業界にとっても「貿易実務のエキスパート」が求められています。1 年生で学んだ貿易実務について、現在、自分の実務能力・知識がどの程度のレベルにあるのか、客観的に確認できる手立てが必要となってきました。この学科ではそのレベルを確認するため「貿易実務検定C級」受験及び合格を目的とし、「貿易とは？」という基本的な知識を修得し、受験対策への意識を高める授業を行います。				
到達目標	「貿易実務検定C級」を受験・合格、及び一般社会人としての貿易実務知識を修得する				
検定資格	なし ・ 必修 ・ ☒ 任意 名称: 貿易実務検定 C 級				
教科書 教材	講師作成の資料				
授業計画	【貿易実務検定C級「貿易実礎」出題対策】 貿易取引、市場調査・契約、信用状、品質・数量、インコタームズ、貿易運送、貨物海上保険、その他の保険貿易代金決済、輸出、輸入、外国為替、国際貿易体制、他を教科書と過去問題を通して、確認・知識を習得 【貿易実務検定C級「貿易実務英語」出題対策】 英単語(貿易で用いられる英単語) 英文和訳(貿易英語＝商業英語)解釈 を教科書と過去問題を通して、確認・知識を習得				
成績評価 方法	評価試験については、期末に試験を実施。 その他の項目については、下記成績評価基準に順じ評価を行います)				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率 60%以上、平常点 普通 D: 評価試験(理解度)40%以下、出席率 60%未満、平常点 不良				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	ワールドデスティネーションズⅢ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	エアラインキャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期 後期	単位数	前期 : 1 単位 後期 : 1 単位	時間数	前期 : 30 時間 後期 : 30 時間
担当	担当講師				
	実務経験 : ☒ 有 ・ 無 旅行業界にて旅程管理実務経験あり。現在も添乗員として勤務。				
授業概要	みなさんが本校で学ぶ科目の多くは、世界地理の知識を必要とします。 本科目の目的は、2 年間で、①世界の主だった渡航先や輸出入が行なわれる国々について幅広く学び、<u>基本的な知識</u>を身に着けること、②アマデウスやディプロマ等、他科目の学習の手助けとなること、③みなさんの興味を広げていただくこと、の 3 点です。 2 年次では、①主に日本人渡航者が多く訪れる箇所の特徴や魅力、気候、文化、特産品、②日本へ空輸される物品について、③時差、通貨、言語、文化風習について、理解を深めます。 なお、本科目は、<u>世界遺産検定</u>／<u>海外地理検定</u>／<u>観光英検等</u>の受検対策を目的とはしていません。 また、授業内容・順番は変更になる場合があります。				
到達目標	世界の主要な国、都市を地図上で直ちに指し示することができる。日本からの主だった渡航先について、文化や観光資源を理解することができる。日本への空輸品と国の特徴を結び付けて考えることができる。時差、通貨、言語				
検定資格	☐ なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	海外旅行地理ベーシック 400 (JTB 総合研究所) 旅に出たくなる地図世界 (帝国書院) プリント適宜配布				
授業計画	【アジア各論】 韓国／中国本土／台湾／香港／ベトナム／カンボジア／タイ／マレーシア／シンガポール／インドネシア／フィリピン／インド 【オセアニア各論】 オーストラリア／ハワイ／グアム・サイパン 【北米各論】 アメリカ合衆国／カナダ 【中南米各論】 メキシコ／ブラジル／ペルー／チリ／アルゼンチン 【ヨーロッパ各論】 英国／フランス／スペイン／オーストリア／スイス／ドイツ／イタリア／EU とシェンゲンについて 【中東・アフリカ各論】 トルコ／エジプト／南アフリカ共和国／中東エリア 【後期期末試験と解説】 期末試験／解説 各期 2 時間ずつ				
成績評価 方法	評価試験、出席率、授業態度、意欲				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、かつ出席率 80%以上、かつ平常点 優 B: 評価試験(理解度)60%以上、または出席率 70%以上、または平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、または出席率 60%以上、または平常点 可 D: 評価試験(理解度)40%未満、または出席率 60%未満、または 平常点 不可				

学生へのメッセージ

“デスティネーションズ Destinations”とは、「旅行などの目的地」という意味です。航空会社や空港、貨物等、国際的なものに関わって活躍しようとする皆さんにとって、世界の地勢や国々に関する基本的な情報は必須です。
 机の上で一緒に旅をしながら、世界への知識を深めましょう。
 1 年次同様、みなさんの意欲的な授業の参加を、期待します。

シラバス(授業計画)

科目名	異文化理解 I (韓国)			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期	単位数	前期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間
担当	渡部 茂				
	実務経験 : 有・ ☐				
授業概要	朝鮮戦争後の韓国の土台は、米国が作ったと言っても過言ではない。儒教精神と民主主義、この現代の葛藤を、時系列的にドキュメント映像記録を通してみていく。				
到達目標	スマホ情報過多の今日、所謂、「K-POP・韓国料理・化粧品」等の表象的な事象で、はたして日韓関係を改善出来るのか。各自の嗜好に囚らない冷静な情報分析能力を磨き、不測の事態に対して臨機応変に対応し、問題解決力と発見力、論理的かつ批判的思考力を、この授業を通して習得することにある				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	映像資料と授業内容に関連した講師オリジナルのプリントを適宜配布				
授業計画	【韓国とは】【人と言語と歴史】の考察 ・東アジアの朝鮮半島（米国と中国の大国間の緩衝地帯、右往左往する韓国の現状） ・韓国の歴史的な背景と今日の韓国（民主化よりも感情的優先性の優位並びに血族的優先性の横行） ・韓国の使用言語の解説（言語歴史が浅いハングルとは） ・ウリ(内) と ナム(外) 的な独特な思考法とは（自分には甘く他人には厳しく） 【韓国の国内外事情】の考察 ・日韓併合と後の日韓基本条約（条約にある個々人の賠償請求がいつまでも終わらない真の理由とは何か） ・李承晩ライン、竹島問題・徴用工・従軍慰安婦問題（永年の謝罪と賠償でさえも解決不可能な真の理由とは） ・韓国の宗教事情、儒教の家長中心の集団社会で個人的観念のキリスト教がなぜ普及したか（全体と個人） ・韓流ドラマ、K-POP等の人的資源での外貨の獲得事情とその自殺率の高さは（飽きられてしまうコンテンツ） ・コピー商品の横行と「不買運動」が途中頓挫するのはなぜか（ケンチャナヨ精神の可否） 【東アジアを見据えた近隣諸国の中の韓国の大義名分】の考察 ・韓国の財閥事情（財閥の形成と贈収賄事件の多発性と庶民に対する横暴性） やっかみと妬み ・韓国の大統領権限と国会の機能役割（国民の直接選挙と任期末期の逮捕劇の永遠な解消法はないのか） ・貿易立国と若者の失業率（上場企業の異常なまでの外資の高い資本率構成と国内の雇用形態） ・有史以来の対中国との関係は（主従関係の不可避的现代版、今でもなぜ主従関係に甘んじているのか） ・中国の「一帯一路」経済圏構想か日本側の環太平洋パートナーシップ協定かの帰属問題（揺れる国策） 【韓国をどう見る】【未来志向の日韓関係】の考察 ・儒教は宗教か（男尊女卑のテーマと上からの目線は今でも続く） ・日韓語学留学と姉妹校の促進（文化的交流のみで日韓の政治の流れは簡単に変えられるのか） ・在日不法滞留者（変わらない日本国内一位を保つ不法滞在者数） ・各回レポートの提出（返還しない）				
成績評価 方法	講義後の提出レポートの内容性（40/100）と、期末試験（60/100）と出席率（60%以上が前提）				
成績評価 基準	A: 出席率 80%以上、評価試験(理解度)80%以上、平常点 A B: 出席率 70%以上、評価試験(理解度)70%以上、平常点 B C: 出席率 60%以上、評価試験(理解度)60%以上、平常点 C D: 出席率 60%未満、期末試験受験不可				

学生へのメッセージ

「常識とは何か」、国や民族、宗教が変われば、当然視点も違うし考え方も変わる。今日、世界が内向き政治の傾向にある中で、パスポートの色違いを背景に、私情の判断をしがちである。授業内の資料ベースは恣意的なものではなく、あくまでも過去の事実と判断材料を提示するものであって、相手国を非難糾弾する内容のものではない。当該国を固定観念ではなく、柔軟な視点で捉えながら、日韓関係の良好な関係構築の契機にしてほしい。

シラバス(授業計画)

科目名	Airline English II・Ⅲ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期 後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：15 時間 後期：15 時間
担当	語学担当講師				
	実務経験：有・ ☐				
授業概要	航空業界で働く際に遭遇する場面での「仕事で使えるフレーズ」を覚えることを目的とします。 2 年次の前期はセキュリティ、免税店、搭乗ゲート、そして後期は機内での会話やアナウンスを習得します。シンプルなキーセンテンスを応用して使えるように、会話、リスニング、アクティビティを通して反復練習をしていきます。				
到達目標	テキスト Airline English II とⅢの Conversation を暗記し、空港スタッフやキャビンアテンダントのパートを、テキストを見ないで会話することが出来る。				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	オリジナルテキスト				
授業計画	【保安検査場で使う英語】 ・液体物の持ち込み ・セキュリティチェック ・手荷物検査 【免税店で使う英語】 ・アルコール飲料の購入 ・乗継便の案内 ・お支払いについて 【搭乗ゲートで使う英語】 ・お客様の呼び出し ・搭乗開始アナウンス 【復習/会話テスト】 ・復習 ・1 人ずつ会話テストを実施 【機内で使う英語】 ・安全のご案内 ・機内アメニティ ・機内食のサービス ・お飲物のサービス ・機内免税品の販売 ・緊急時の対応 【復習/会話テスト】 ・復習 ・1 人ずつ会話テストを実施				
成績評価 方法	評価試験は会話テストを実施し、出席率・授業態度と総合して評価します。				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 評価試験(理解度)50%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験(理解度)50%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	国内観光地理Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	松川 信也 実務経験： ☒ 有 ・ 無 元添乗員、旅行コンサル会社経営。総合旅行業務取扱管理者。				
授業概要	空港での業務でも、日本国内のさまざまな地方から来た旅客と出会う。また日本人として観光の専門学校を卒業する以上、知っておいてほしい国内の観光地理の知識がある。当授業では、できるだけ視覚に訴える方式(DVDやパワーポイント使用)で知識定着を図る。前半で基礎的な日本の観光地を学習し、後半では応用地理としての「国内旅行を楽しむ」トピックスを学習する。				
到達目標	①日本の有名観光資源について、基本的情報を説明できる。 ②応用地理としての「国内旅行を楽しむ3テーマ」(駅弁・日本神話のふるさと・日本のパワースポット)を理解し、旅行を楽しむ手段を説明できる。				
検定資格	☒ なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	なし(配付プリント対応)				
授業計画	I.【2022 国内旅行の動向把握】 現在のコロナ騒ぎの終結を視野に、講師が独自の観点で分析した 2022 年の国内旅行の動向を数点プレゼンテーションする。空港で出会うお客様とのコミュニケーション、あるいは自身が旅行する際の基礎知識を身につける。 II.【日本の美しい風景】 基本中の基本となる国内の 47 都道府県と県庁所在地を把握した後、パワーポイントやDVDを利用し、日本国内の主要観光地情報を把握する。 III.【日本の世界遺産】 ここ数年毎年のように新規「世界遺産」が日本に誕生し、観光振興に一役買っている。国内に存在する「世界遺産」23 か所をまとめて学習する。パワーポイント画像使用。 IV.【応用地理:国内旅行を楽しむ】 国内旅行を楽しむ手段としての3つの切り口(①駅弁②日本神話のふるさと③日本のパワースポット)から観光情報を講義する。				
成績評価 方法	前期、後期とも各パートごと終了時に小テスト(平常点としてカウント)、期末に評価試験を実施する。欠席は0点扱いとなるので注意。各期とも、評価試験、出席率、平常点の総合評価とする。				
成績評価 基準	A:評価試験 80 点以上、かつ 出席率 80%以上、かつ 平常点優 B:評価試験 60 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点良以上 C:評価試験 40 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点可以上 D:評価試験 40 点未満、または 出席率 60%未満、または 平常点不可				

学生へのメッセージ

週に1回、空港の専門科目から離れて、折角観光の専門学校に来た皆さんに国内旅行の楽しさを学んでいただきます。ぜひ皆さんにも、日本人として国内旅行の楽しさを体得してください。

シラバス(授業計画)

科目名	電話応対ベーシックⅠ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	岸田輝美				
	実務経験：有・無	電話応対・マナー講師実務経験あり。現在は、マナー会社取締役。			
授業概要	あらゆるビジネスシーンに必要な「電話応対」には、正しい日本語の使い方・基本的なビジネスマナー・様々な状況に臨機応変に対応することができるコミュニケーション能力が求められます。本授業では、実践ですぐに役に立つ、社会人として最低限に必要なスキルを身に付けていく「電話総合ビジネスマナー」を学んでいきます。				
到達目標	実践ですぐに役に立つ電話応対を学ぶ。信頼関係を築くためのコミュニケーションスキルを習得します。訓練用模擬電話機「てるコーチX」でトレーニングをして即戦力を目指す。				
検定資格	なし・必修・任意 名称:電話応対技能検定4級				
教科書 教材	ビジネスマナーテキストブック(ビューティフルマナー株式会社出版) 前向きな言葉の作り方実践ワークブック(一般社団法人日本ベップトーク普及協会)				
授業計画	【総合ビジネスマナーの概要】 社会人として必要なマナー(人を思いやる心)を「武士道」から理解する。 人間関係を支える基本マナーは「愛」を学ぶ 【日本語の特徴】 敬語の由来、慣用句等に触れ美しい日本語の表現を学ぶ 敬語の5つの基本形を学ぶ おもてなしの表現を研究する(ステップアップ) 【電話応対のマナー】 「正確・簡潔・丁寧・迅速」、電話応対の注意点や電話のかけ方、受け方、取り次ぎ方、常套句等、 実技トレーニングをしていく 【いろいろな場面での電話応対】 電話の第一印象であるオープニングの解説と実技トレーニング 電話の向こうの「あなた」に爽やかな余韻を残しての終話(クロージング)の解説と実技トレーニング 【前向きな言葉を意識する】 ポジティブな言葉を使うことで自分を周りを前向きな気持ちにしていきます				
成績評価 方法	学期末には評価試験を行う。 評価試験を欠席した場合は、0点として取り扱う。出席状況、授業参加意欲も評価される				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

社会に出たら会社の代表として電話に出ます。あなたの対応が心地よいからこの会社にお願ひしたいと言われるようにファンづくりに繋がっていきましょう。電話というツールを活かして対人とのコミュニケーションスキルを学びましょう

シラバス(授業計画)

科目名	接客手話Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：15 時間 後期：15 時間
担当	担当講師				
	実務経験： ☒ ・ 無	江戸川区登録手話通訳者			
授業概要	ユニバーサルサービスとして接客における手話を身に着ける。前期は 5 級の単語学習中心におこない、後期は 4 級単語学習を行う。聴覚障がいをお持ちのお客様に対して手話でのコミュニケーションがとれるようにする。				
到達目標	1 年次においては手話検定 4 級レベルを目指す。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ ☒ 任意 名称: 手話技能検定 4 級				
教科書 教材	手話技能検定公式テキスト 3・4 級（日本能率協会マネジメントセンター）				
授業計画	【日常生活に必要な基本を学習Ⅰ】 あいさつ・天候・疑問・数字・日にち・時間・家族・色・方角・感情・動作・自然・仕事などを学習する。 【日常生活に必要な基本を学習Ⅱ】 食べ物・動物・スポーツ・趣味・乗り物・形容詞・副詞・施設・地名・接客手話などを学習する。 【日常生活に必要な基本を学習Ⅲ】 ホテルで使う手話や検定対策に向けて過去問題の学習を行う。 【聴覚障害概要の学習】 手話とは・聴覚障害者とは・耳の構造・聴覚障害の種類・聴覚障害者数・聞こえのレベル・身体障害者等級・聴覚障害者のコミュニケーション方法・合理的配慮・手話言語条例・強味と弱味・ろう文化など				
成績評価 方法	授業内におこなう実技試験と期末試験、出席率、授業態度を総合的に評価します。				
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 80% 以上、平常点優 B: 評価試験 70 点以上、出席率 70% 以上、平常点良 C: 評価試験 50 点以上、出席率 60% 以上、平常点可 D: 評価試験 50 点未満、出席率 60% 未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	リスクマネジメント			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	2 年 後期	単位数	後期：1 単位	時間数	後期：15 時間
担当	湊 さやか				
	実務経験： ☒ ・ 無	エアライン業界にて客室乗務員として7 年間の実務経験あり。			
授業概要	①いざという時、周りにいる人がすぐに手当てを行えば、救命の可能性は高くなります。この講義では、空港や機内などでのとっさの手当や予防に役立つ知識を学び、「赤十字ベーシックライフサポーター」の資格を取得します。 ②東京臨海防災公園で、防災への関心を高め、実際に災害に対応できる知識や技術を習得します。				
到達目標	①人工呼吸の方法、AED の使用法を習得し、いざという時に躊躇なく実践できるようにする。 ②災害時に何が起きるのか、どう行動すれば良いのか、を理解する。				
検定資格	なし ・ ☒ 必修 ・ 任意 名称:赤十字救命法基礎講習「赤十字ベーシックライフサポーター」				
教科書 教材	①赤十字救急法基礎講習での配布テキスト ②なし				
授業計画	【赤十字救急法基礎講習】 手当の基本 人工呼吸・胸骨圧迫の方法 AED(自動体外式除細動器)の使用法 気道異物除去の方法 【東京臨海防災公園での防災体験】 東京直下 72h TOUR 体験 津波体験				
成績評価 方法	評価試験については、期末に試験を実施。その他の項目については、下記成績評価基準に順じ評価を行います。				
成績評価 基準	A:評価試験(理解度)80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B:評価試験(理解度)70%以上、出席率 80%以上、平常点良 C:評価試験(理解度)60%以上、出席率 60%以上、平常点可 D:評価試験(理解度)60%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	空港あれこれ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	2 年 後期	単位数	後期：1 単位	時間数	後期：15 時間
担当	松川 信也				
	実務経験：有・ ☐				
授業概要	1 年次より蓄積してきた航空業界についての専門知識を、また別の観点から補完、拡充する。国内に目を向ければ、「新幹線」VS「航空」の構造、また利用者の観点から航空利用にあたっての知っていると便利な知識を、数点学習する。				
到達目標	①日本の国内旅客運送に関し、「新幹線VS航空」の経緯や構造を説明できる。 ②航空業界の各種最新トピックス、新しい空港名、LCC動向、等について説明できる。				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	【成田と羽田 最新事情】 日々進化している成田、羽田の最新事情。AIによる空港サービスも導入されつつある。利用者から見た東京の2大空港の現状を研究する。 【国内航空～永遠のライバル新幹線】 国内の旅客運送において、永遠のライバル関係と言える「航空」VS「新幹線」。その歴史と意義を把握し、今後の国内旅客運送の動向を推測する。 【国内・海外の「空港名」～そのお国柄】 日本国内も、海外でも、突然空港名が変更になったりする。その地域に貢献した人物名をつけたり、地域の観光資源の名称をつける空港もある。それらの主なものを把握して、その地域(国)の特性を把握する。 【LCCの最新動向把握】 まだまだフルサービスキャリアが主体の日本のエアラインだが、海外ではLCCがすでに主体の地域もあり、日本でもジワジワと増えている。その最新状況を把握する。				
成績評価 方法	小テストを各パート終了時に実施し平常点扱いとし(欠席の場合は0点となるので注意)、期末試験を評価試験として実施する。平常点、出席率、評価試験合計点の総合評価。				
成績評価 基準	A:評価試験 80 点以上、かつ 出席率 80%以上、かつ 平常点優 B:評価試験 60 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点良以上 C:評価試験 40 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点可以上 D:評価試験 40 点未満、または 出席率 60%未満、または 平常点不可				

学生へのメッセージ

元旅行の添乗員の講師が、あくまで利用者の立場で空港のさまざまなトピックスを解説します。空港についての見聞を広げて、実務に役立ててください。

シラバス(授業計画)

科目名	異文化理解Ⅱ(中国)			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	2年 後期	単位数	後期：1単位	時間数	後期：15時間
担当	張翼飛				
	実務経験：有・ ☐ 無				
授業概要	前期中国語の基本発音、文法及び基本会話を習得しました、後期視聴覚資料を使って、中国や中国の文化、行事、料理、生活習慣、中国人の性格などを紹介します。				
到達目標	中国事情を理解し、教養を身につけ、来日中国のお客様に円滑に対応できるように。				
検定資格	☐ なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	講師作成プリントに基づきを学習します。				
授業計画	【中国概要】 中国の地図、 中国の歴史と近代歴史 中国の漢族と少数民族 【中国の行事】 中国の春節 中国人の名前、 中国人の贈り物 【中国の文化】 中国の民族楽器 中国の映画鑑賞 日中文化の交流 【レポートを提出する】				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A: 評価試験(レポート)80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験(レポート)70%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C: 評価試験(レポート)40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D: 評価試験(レポート)40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

毎回授業時一つのテーマを絞って、日本文化と異なる中国文化を解釈します、DVDを鑑賞したり、楽しい授業ですよ。

シラバス(授業計画)

科目名	企業実習			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートカーゴコース			授業形式	実習
実施期	2 年 後期	単位数	後期：2 単位	時間数	後期：60 時間
担当	逢坂 理恵				
	実務経験： ☒ ・ 無	航空貨物取扱企業にて教育担当の実務経験あり。			
授業概要	輸出、輸入、上屋での業務を、実際の体験をとおして理解する。 実習先企業についても学ぶ機会とする。				
到達目標	航空貨物輸送に関する業務を体得する。				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意				
教科書 教材	・講師作成教材 ・貸与品(カバーオール・帽子・軍手)				
授業計画	【実習内容】 輸入貨物上屋見学 危険物教育 輸出貨物上屋業務 ・業務概要説明 ・貨物仕分け・ネット・積み付け・搬送 国内貨物受付業務 ・DATA 入力 ・書類仕分け				
成績評価 方法	下記成績評価基準に順じ評価を行います。				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)60%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ